

蜜穴射精 いっぱい出してね

成年
コミック

Hironichi Suzuki

鈴木ひろみち

コミック
激イッパ!

膣内射精いっぱい出してね
人妻エステティシャン
あたしとヌルヌルする
家政婦妻
美尻の疼き
人妻バスガイド
彼女の股を開いた理由
欲情の試着室

兄嫁の柔肌の感触
クリスマスイブ
ロマンチックで欲情
義母と姉弟親密な関係

WEB
限定

MEDIAX
GEKIYABA!
COMICS

29

膣内射精

いっぱい出してね

鈴木ひろみち



俺は大学生で
叔母の娘の
家庭教師を
することになった

娘の大学入試まで
あと1ヶ月ほど
ラストスパートの
伴走をするの
いったところだ

家庭教師なんて
柄じゃなかったが
小さい頃から
叔母のことが
好きだったから
引き受けのだ

本当に
俺でよかったの

よろしくね

アラホーの
叔母の真紀
若い時からの
美貌は健在だ

娘の明菜
年々叔母に似てきて
なかなか可愛い

俺を家庭教師に
指名したのは
明菜だった

彼女が俺を
呼んだのには
ある目的が
あったのだ
……

ねえ…
徹くん

ん…

明菜は
精神的に
鬱積して
いたんだと
思う……



からかって
るのか……

え……!



見たいて
顔してる

な…
何言ってるんだよ



見たくない
……?



今日ね
可愛い下着
つけてるんだけど
……



試験は
大丈夫よ

模擬試験で
合格ライン
超えてるから

あたし
自信あるの

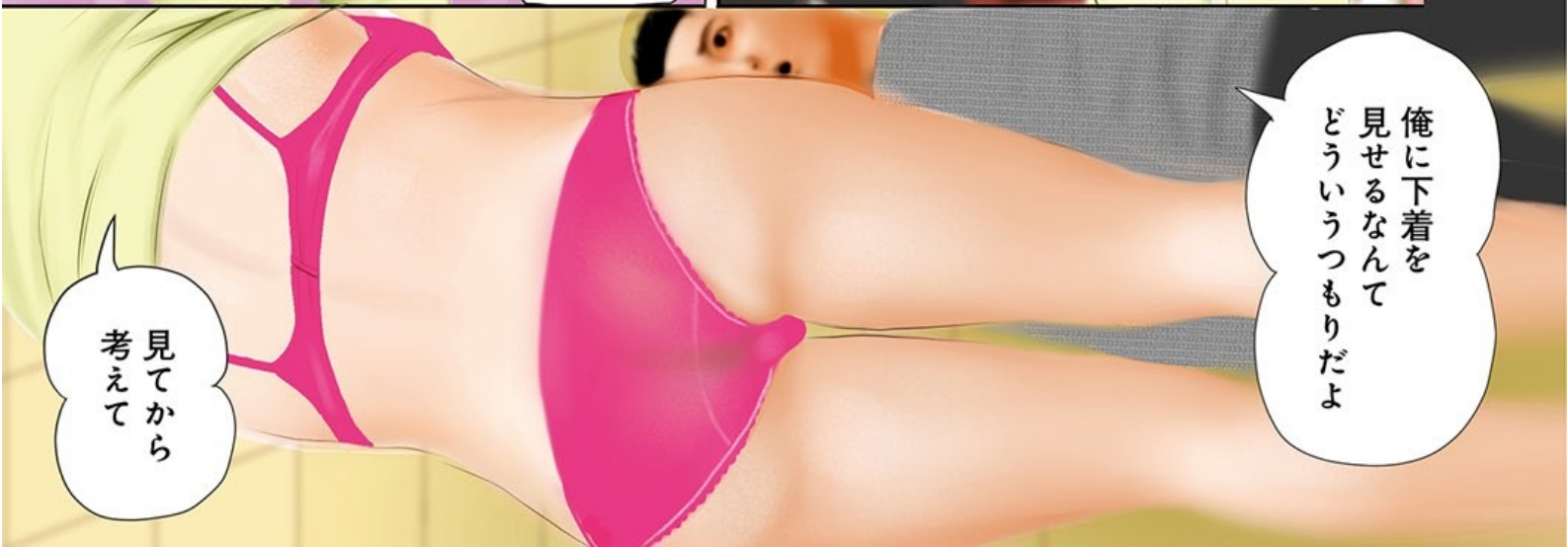
見てから
考えて



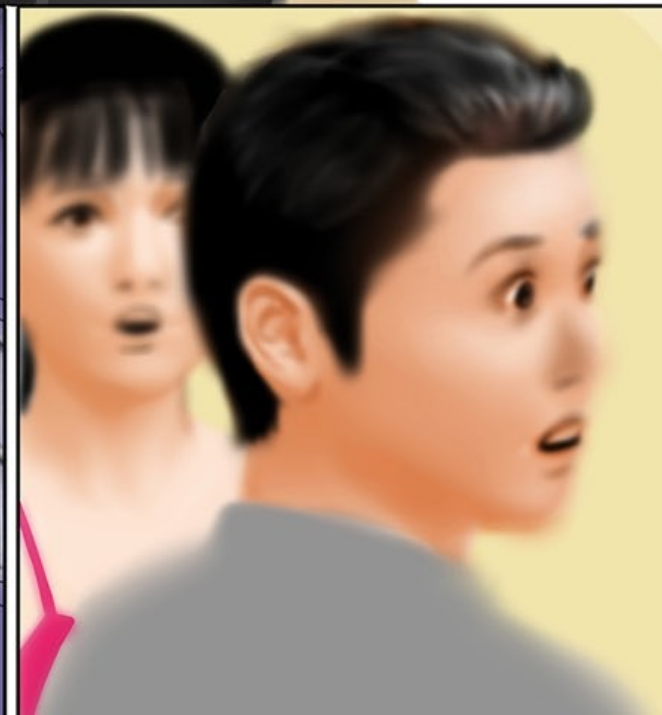
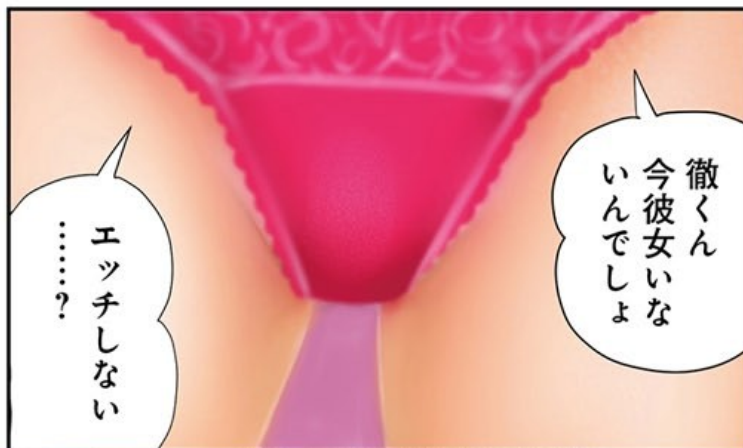
ま…
待て!

おまえ
何考えてんだ
この大事な時期に

マジだ!



俺に下着を
見せるなんて
どういうつもりだよ



数日後
叔母に呼ばれた

明菜は出かけて
留守だった

明菜ね
徹くんが家庭教師
続けてほしいんだって

もう
徹くんのこと
挑発したり
しないって
言ってるけど
……

もしね
またあんなことしたら
徹くん拒んで叱って
くれる？

俺自信ないなあ

うーん
……

この時期に
明菜の機嫌損ね
たくないし
どうしよう……

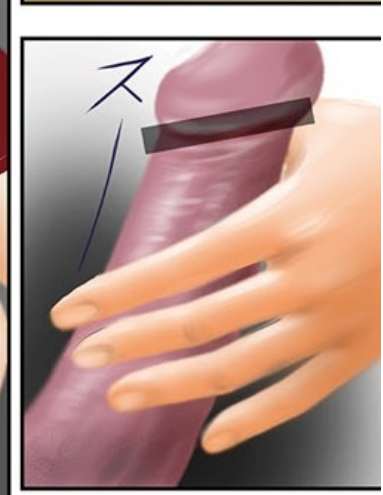
……ここに
来る前に
風俗にでも
行って発散
してくるかな
……

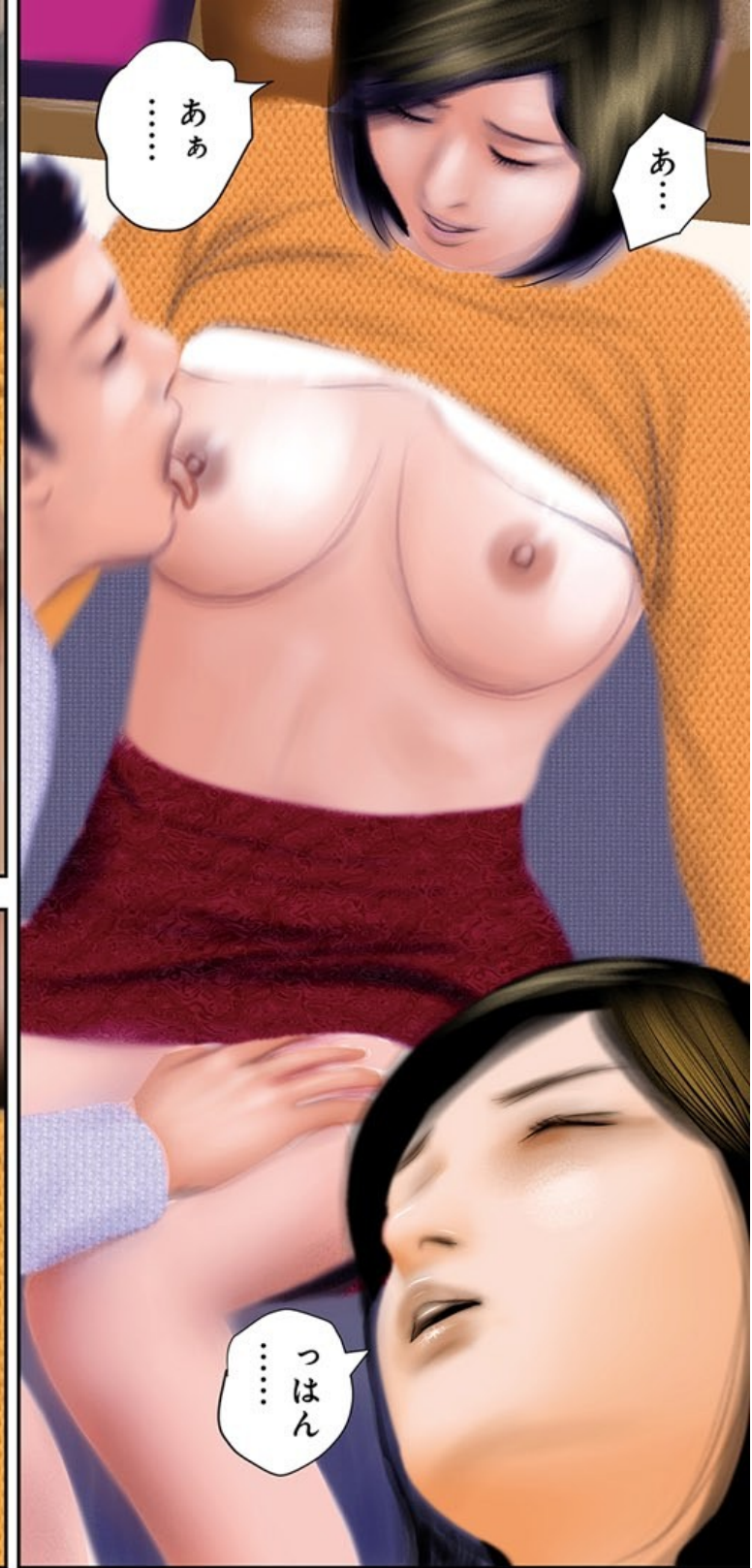
あ……
あたし
なんてこと
言ってる
のかしら

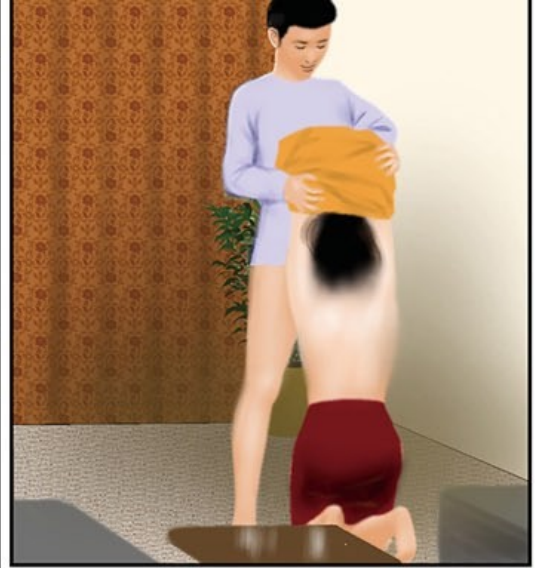
それじゃあ
勉強始まる前に
あたしが
シコシコして
あげようか

え……
シコシコ

それいい！
それいいと思う





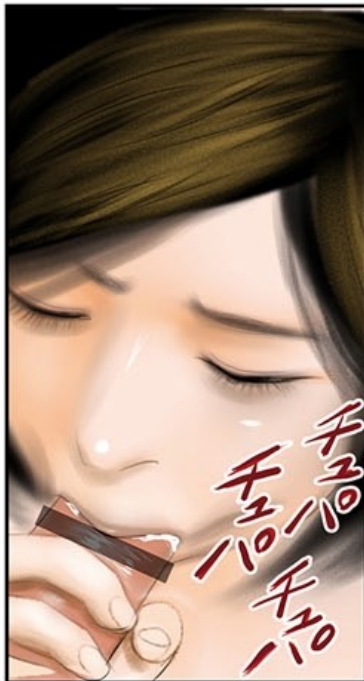




ねっとり
チンコに絡みつく
アラホーの
人妻の舌使い



俺は
射精するのを
こらえていた





若い男のチンポ
味わってみてよ
……

濡れてる
……

あ……だめよ
あたし
あなたの
叔母よ

わかってるよ
子供の頃から
大好きだった
叔母ちゃんさ

一度だけで
いいから
ね……

あ……
……



熟れ熟れで
美味そうだよ

全然



がっかり
したんじゃない



これが
叔母ちゃんのマンコ



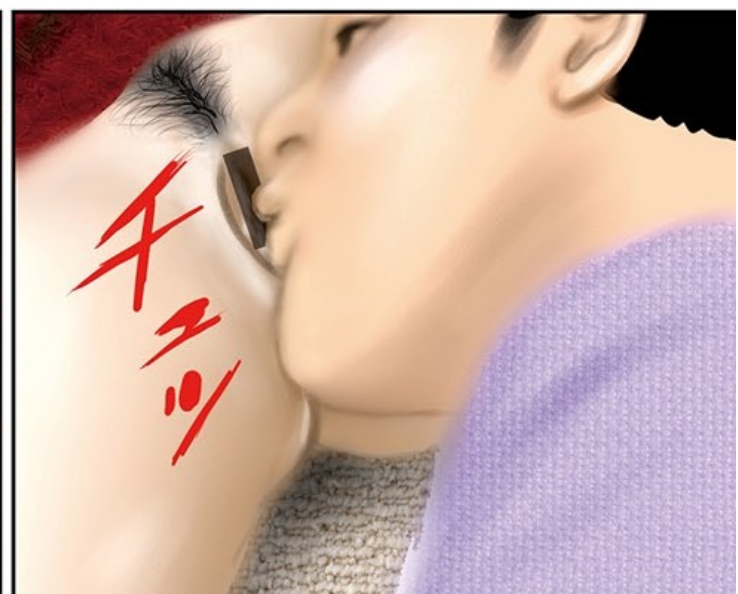
あん

うは

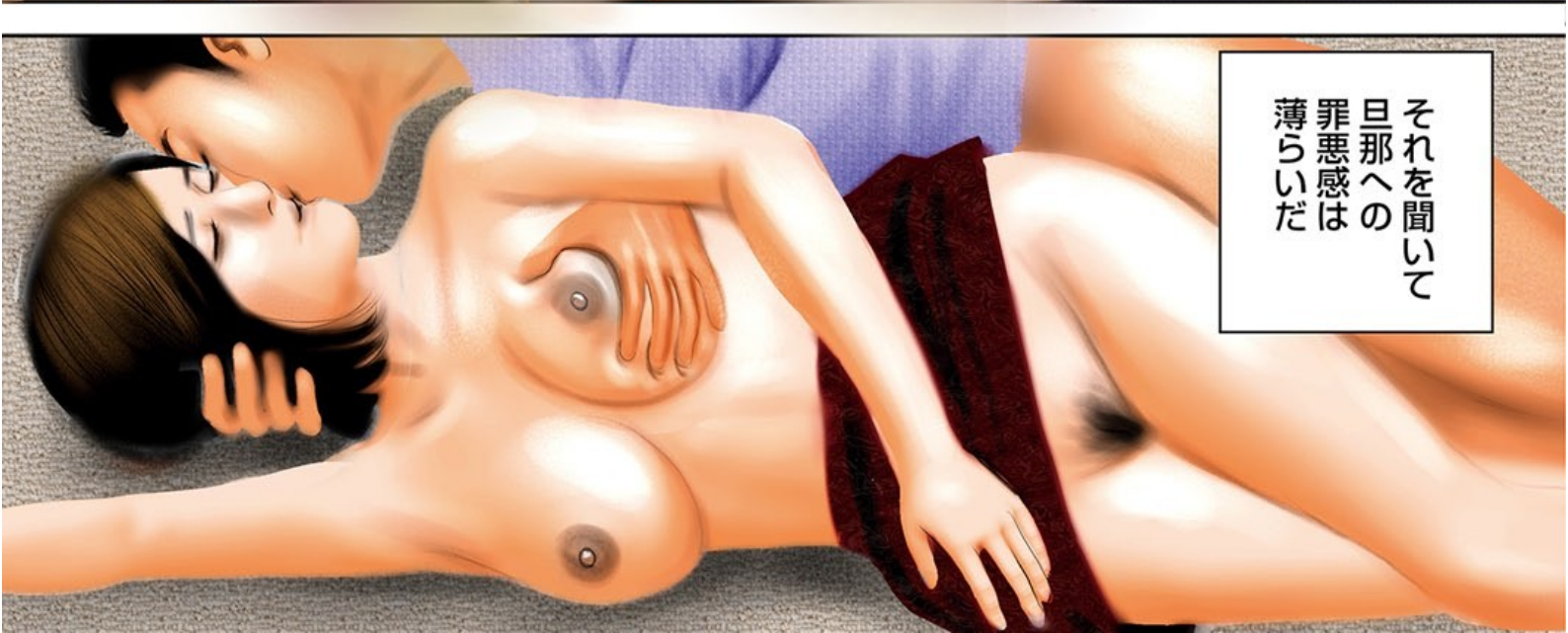
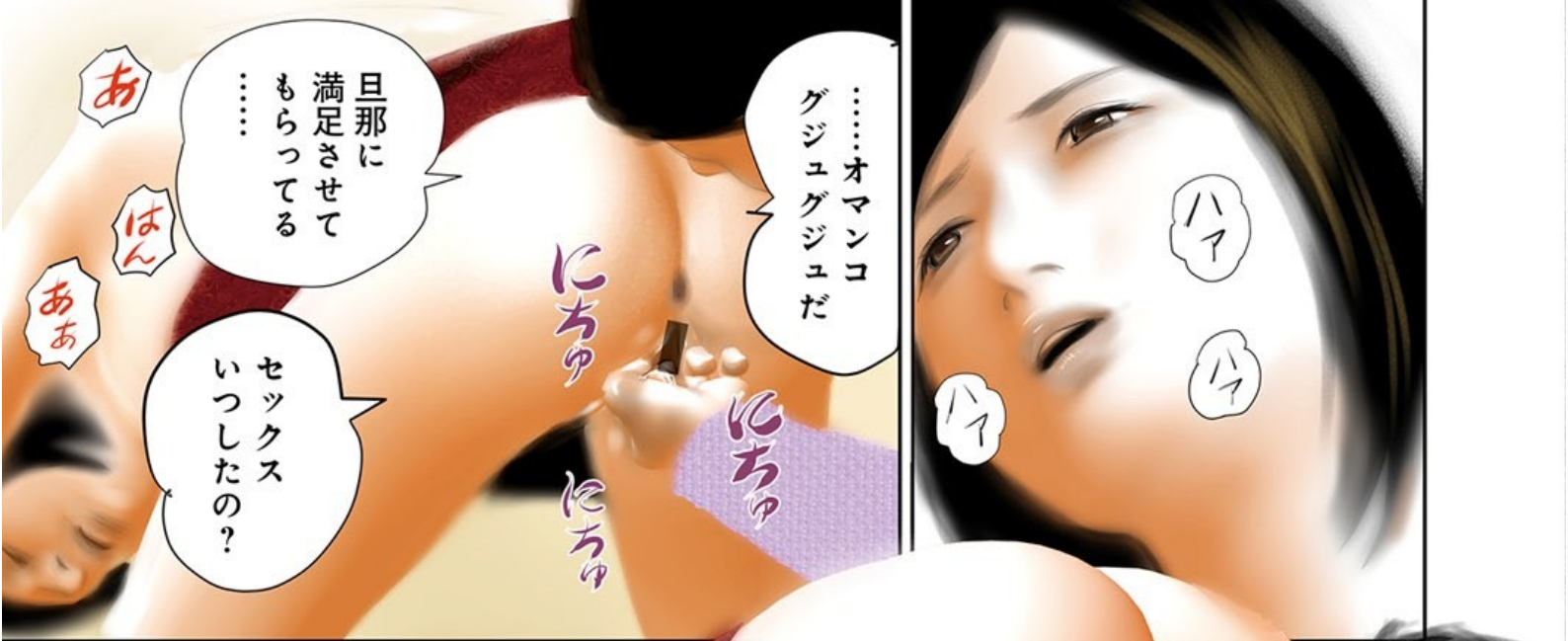
あは



あ……



チンポ





叔母ちゃん
いいオマンコだね

あん

今だけは
叔母ちゃんて
呼ばないで

あん

あん

あん

ニ
エ
ヲ

ニ
エ
ヲ

真紀！

あん

あん

真紀！

あは

あん

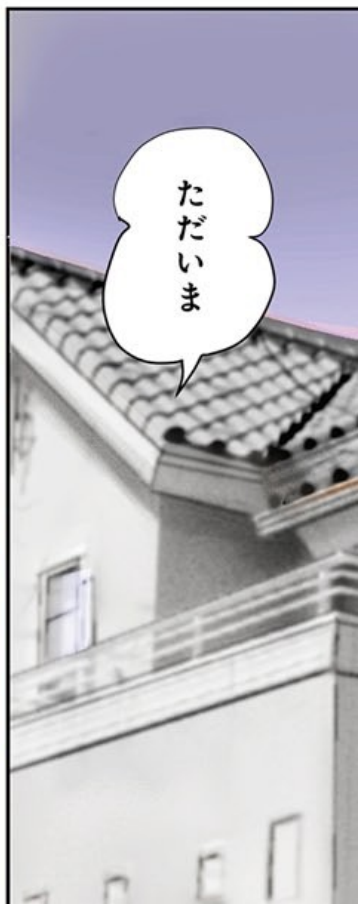
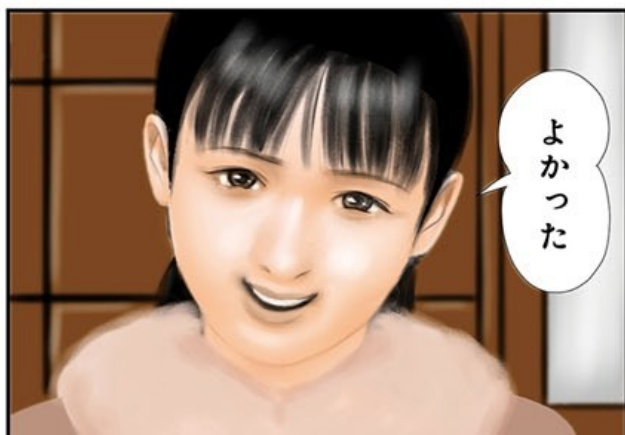
あん

真紀！

あゝ
気持ちいい

ぐちゅ
ぐちゅ

ぐちゅ





俺は叔母との約束は
守ることは
できなかった
明菜の挑発に
勝てなかったのだ



声でかいよ



二人にいつばれるか
ヒヤヒヤもんだったが
……

明菜の入試は
無事終わり
志望校に
合格することが
できた

おわり

A detailed illustration of a woman with short brown hair, wearing a white t-shirt with a dark blue collar and a dark blue stripe on the sleeve. She is lying down, with her hands raised near her face, palms facing forward. Her large, prominent breasts are a central focus of the image. The background is a soft, out-of-focus pink and white.

人妻エステティシャン
あたしとヌルヌルする

鈴木ひろみち



わたしは37才
主人とエステサロンを
開業しています



経営は主人に任せて
わたしは本店で
エステティシャンとして
店を取り仕切って
いました

子供はいません
店の発展に尽力をそそぐために
積極的に子作りをして
こなかったのです

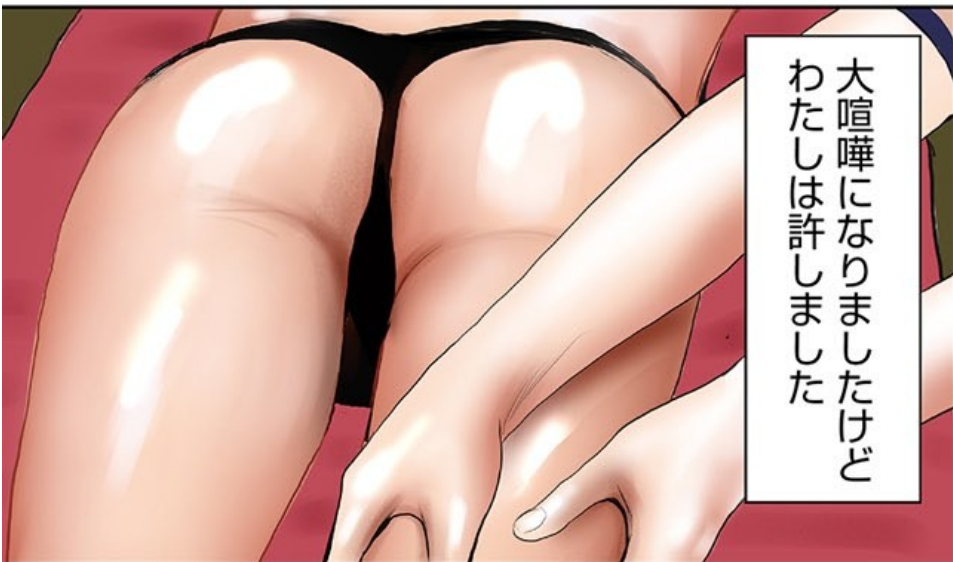


県内に
3店舗あります



結婚して6年目
子作りを真剣に
考えてみようとしていた
矢先……

主人は店の若い従業員と
浮気をしたんです



大喧嘩になりましたけど
わたしは許しました



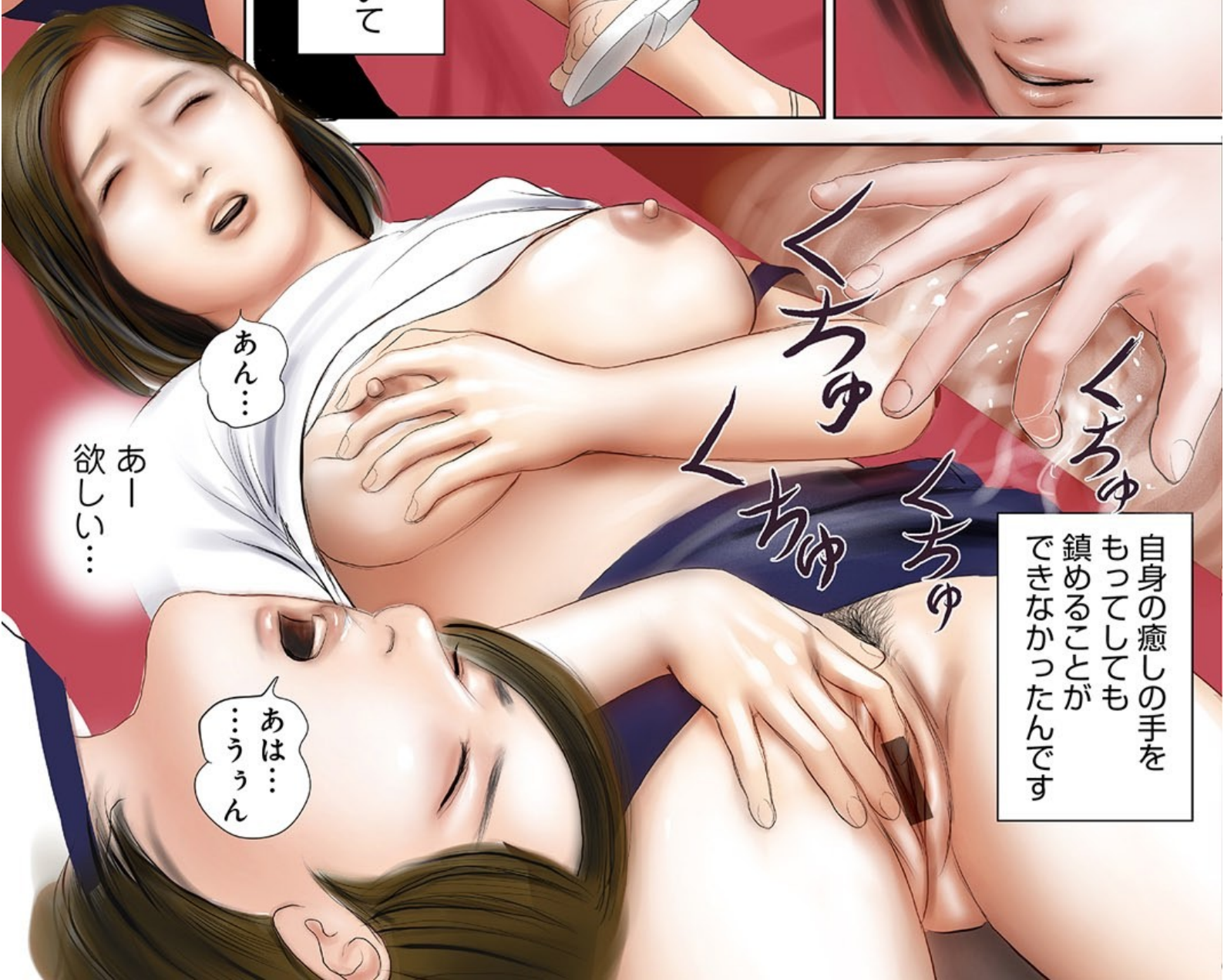
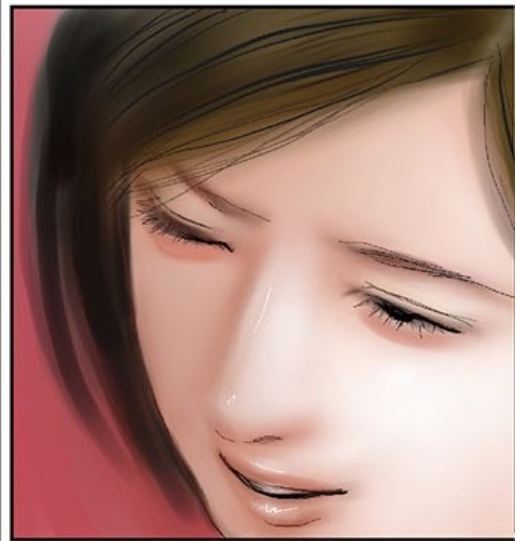
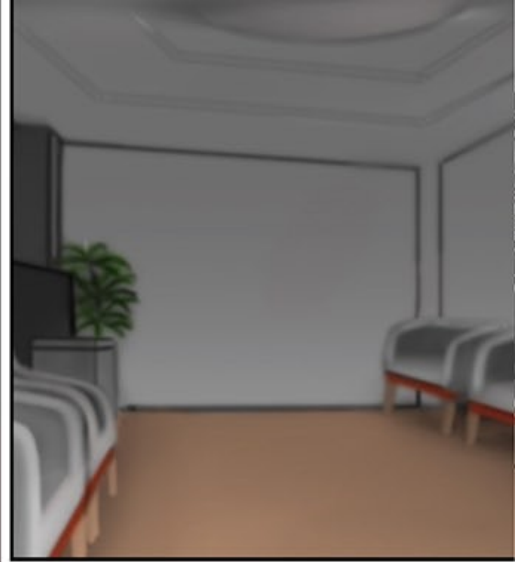
だけど3ヶ月経った今でも
根に持っていたんです

セックスレス状態が
続いていました



あ…
あ…
あ…

わたし
身体が疼いて
いました



あん…

あー
欲しい…

あは…
…うん

くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ

自身の癒しの手を
もってしても
鎮めることが
できなかったんです

わたしが
休みのある日
主人の甥の佑介くんが
うちを訪ねてきました

彼は今年 大学受験に失敗し
浪人中で鬱積していたんです
そしてつきあっていて
彼女と別れて
傷心の身だということを
メールで伝えてきたのです
それで慰めてあげようと
うちへ呼んだのです

彼はわたしを慕って
くれていました
そんな彼を子供のいない
わたしはいとおしく思っ
ていたんです

そうだ
今度お店に
来ない

塞いだ気持ちを
エステで
解消するといいわ

女性専門じゃ
なかったの

閉店後に特別に
してあげるわよ

あたしの
ゴッドハンドで
身も心も
癒してあげる

…あたし彼を
誘惑しようと
してるのかしら

あたしじゃ
不満なの

若い
お姉さんが
いいの

可愛い…

そんなこと
ないよ
彩香さんに
やってほしい

うん
それじゃあ
決まりね

あやか
彩香
さんが
…

まさか…
夫の甥よ
ありえない

数日後の
店の閉店後

なんか
恥ずかしいな

ふふ
可愛いわよ

さ
ここに
うつ伏せに
なって

男性をマッサージするのは
主人以外の人は初めてでした

リラックス
してね

うちの人に
してあげるとね
すぐ寝ちゃうのよ

感想は
どう？

想像してた以上に
気持ちいいよ

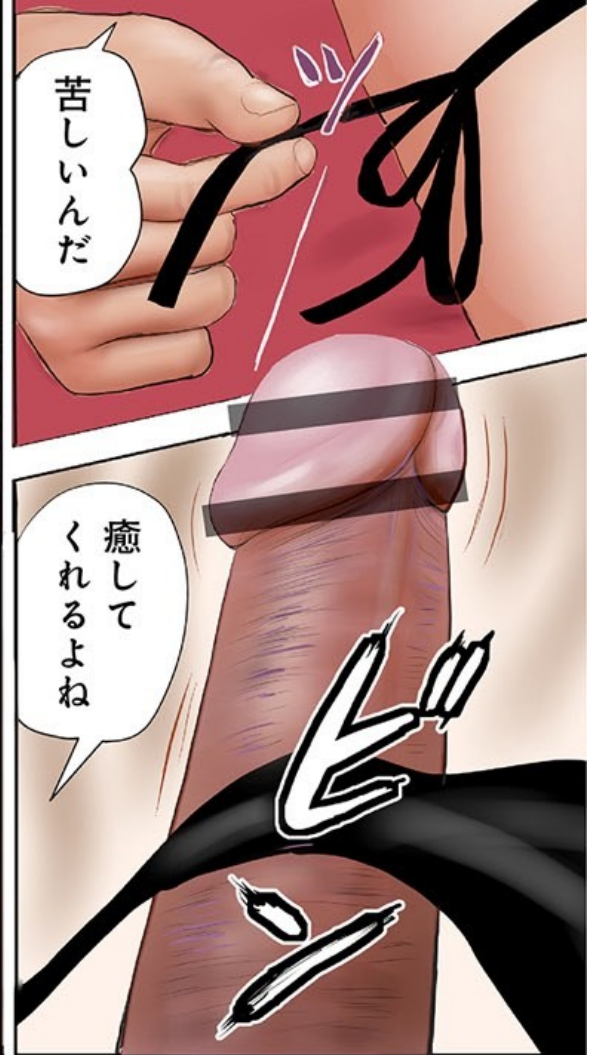
スル
スル
スル



いえ違う
違うわ……

……あたし
本当はこんな展開を
望んでいたのでは

……ここは
冷静に



苦しいんだ

癒して
くれるよね



浮気……



……彼女と別れたの
受験のさまたげに
なるからって言ったけど
来年まで待って
もらえばよかったのに

ああ……

……本当はね
浮気されたんだ



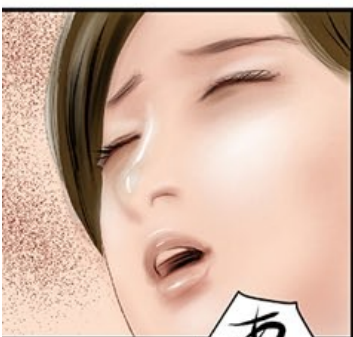
若いから
仕方ない
わよね

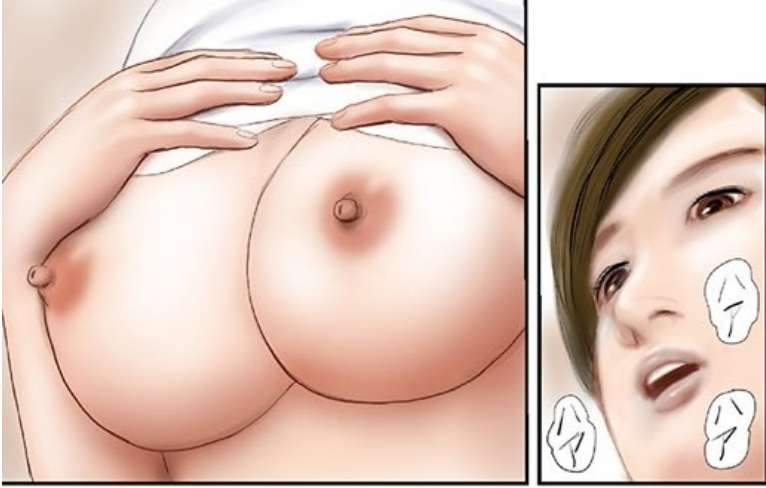
すぐに楽に
してあげる
からね



うう

……なんて
硬いのかしら





これだって
マッサージの
一環よ

おっぱい
見せて

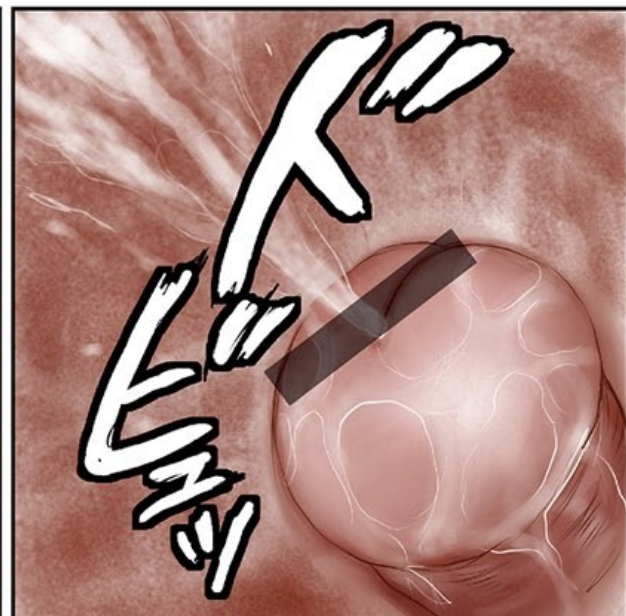
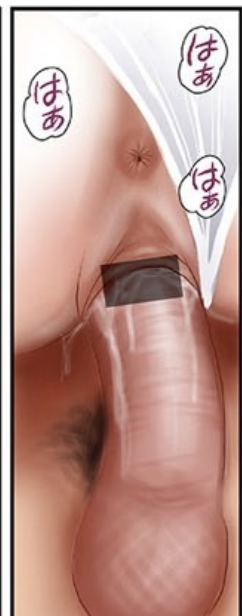
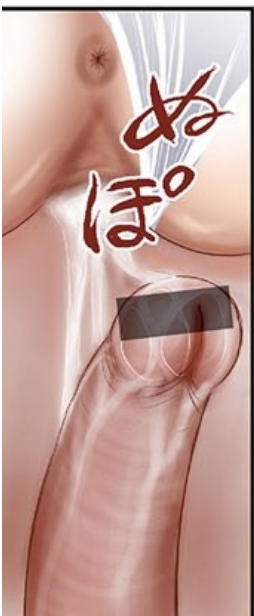


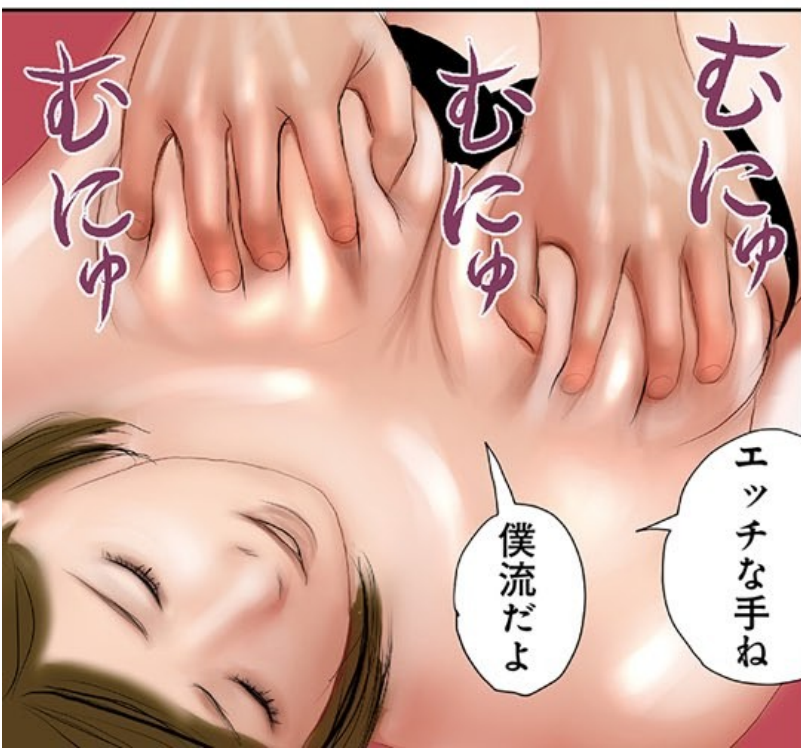
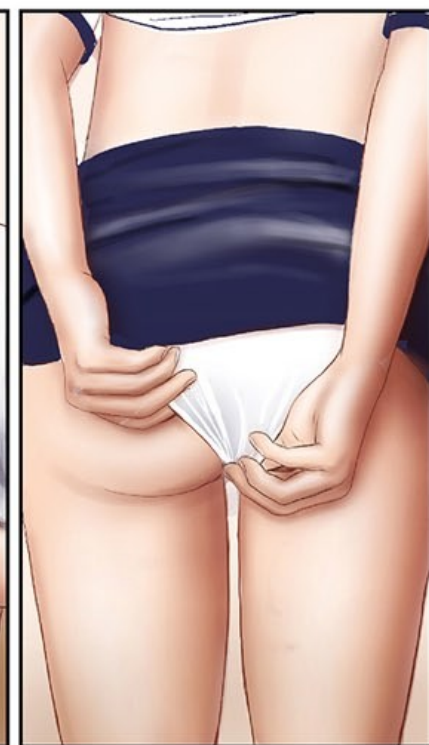
年の離れた
あたしで
満足してくれる
かしら……

あたしのオマンコ
若い娘と比べて
どう？

多少ゆるいけど
その分
トロトロ感が
たまらないよ
僕はこっちの方が
好きだな













にゅ

あーんもう
広げちゃだめ



チュッ

あ



スリスリ

ヌル
ヌル

僕のマッサージ
気に入った
みたいだね

マン汁が
こんなに
溢れてる



ぴちゃ

ぴちゃ

ぴちゃ

ぺちよ
ぺちよ

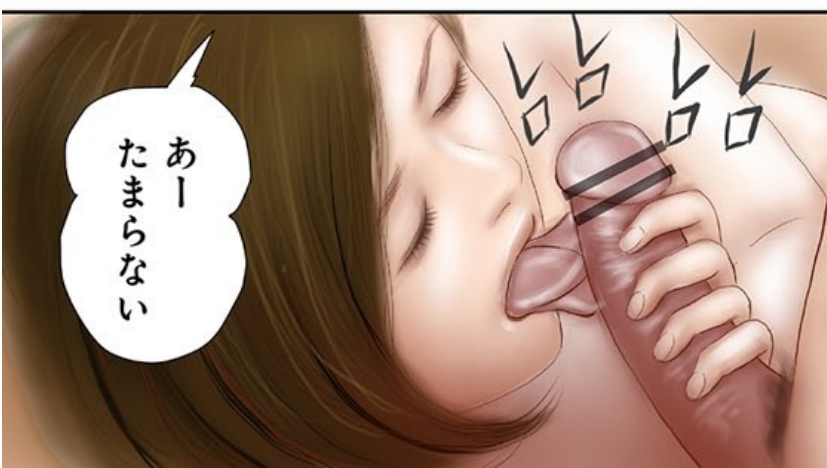
うーん
濃厚な
マン汁だ

あ

あ

う

あは







んはあ

あーたまらない
彩香さんのオマンコ
生き物がいるみたいに
蠢(うごめ)いてる

甥の
ピストンマッサージ
頭が真っ白でした

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

んはあ

バスタ

じゅじゅ

佐介くんの
息遣いが
荒くなつて
きました

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

ニ
エ
ノ

ニ
エ
ノ

ニ
エ
ノ

あ

あ

来るのね
あたしも！

あ

あ

ん
は

一緒に！
一緒に
イクわよ！！

ニ
エ
ノ
ニ
エ
ノ
ニ
エ
ノ



その後
わたしは妊娠しました



でも大丈夫
主人と佑介くんは
顔がよく似ていて
血液型が同じ
だったので



正直
どちらの子供か
わかりません



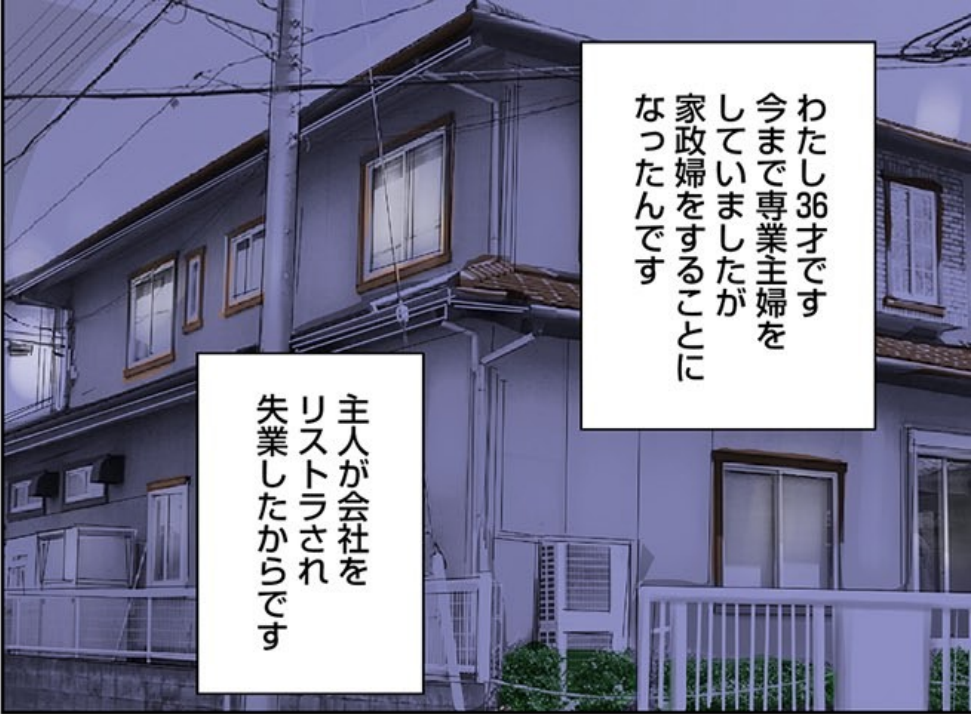
主人を
裏切ることで
主人への
わだかたまりは
消えました

そしてすぐに
子作りを始め
妊娠したんです

家政婦妻
美尻の疼ぎ

鈴木ひろみち





わたし36才です
今まで専業主婦を
していましたが
家政婦をすることに
なったんです

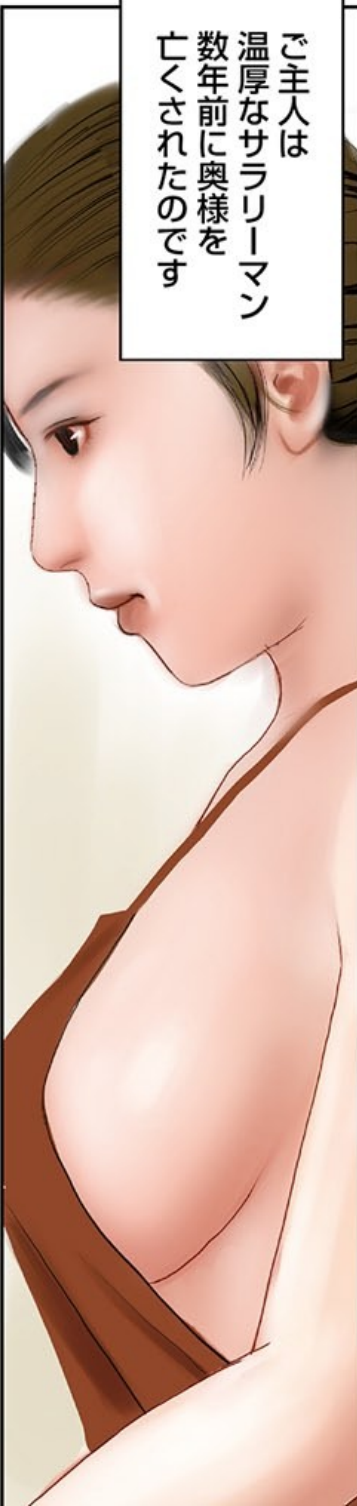
主人が会社を
リストラされ
失業したからです



当分の間主人は
就活をしながら家事をし
わたしが外で
働くことにしたんです



てっとり早く
稼げるのは
家政婦
そう思ったんです



ご主人は
温厚なサラリーマン
数年前に奥様を
亡くされたのです



息子の亮太^{りょうた}さんも
真面目な大学生……



よろしく
お願いします

派遣されたのは
父と息子の
二人暮らしの家庭です

と……思っていたのに



紹介所に連絡すれば
対処法があったのに
新米だったので
気が動転していました

よし
こうしよう

俺が接着剤で
つけておくよ

もしバレたら
俺がやった
ことにする

息子の俺に弁償しろとは
言わないと思うんだ

そんなの悪いわ
気がとがめる
……

それなら
交換条件
俺の頼み
聞いて
くれる

…何？

裸にエプロン姿に
なってくれないかな

ええ！

……お尻
見られちゃう
じゃない

どう…？

男のロマン
見るだけだよ

景子さん
プロポーション
いいから
素敵だろうな



なんだか
股間の辺が
熱い…

あたし欲情
してるのかしら
……

まさか
……



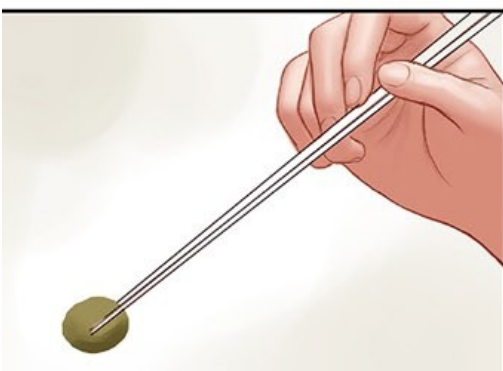
亮太さんに
従うことに
したんです



美味しいわよ



いいんだね



襲われるかもしれないと
身がまえていましたたが
彼は単にこの姿が見ただけ
ホッとしたと同時に
ちよつと拍子抜けしたんです

美味そう
だな

食べても
いい……?

色気より
食い気……



もう
止まらないよ

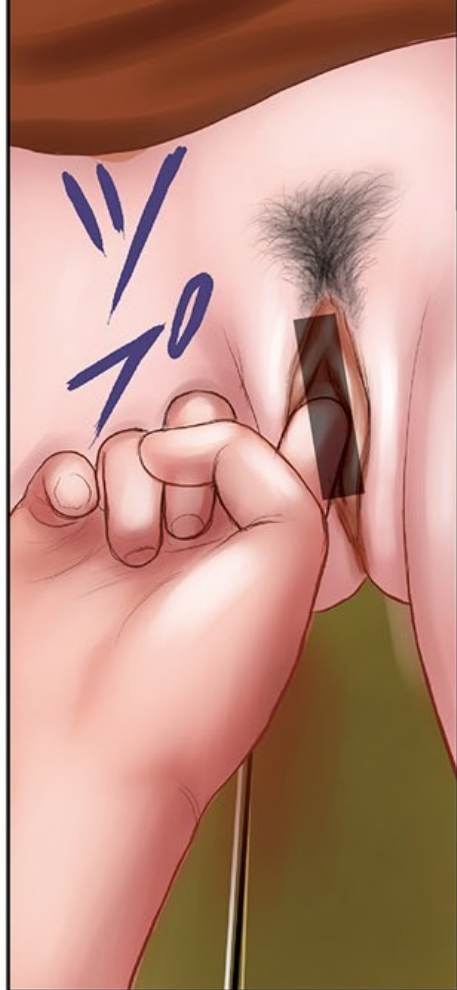


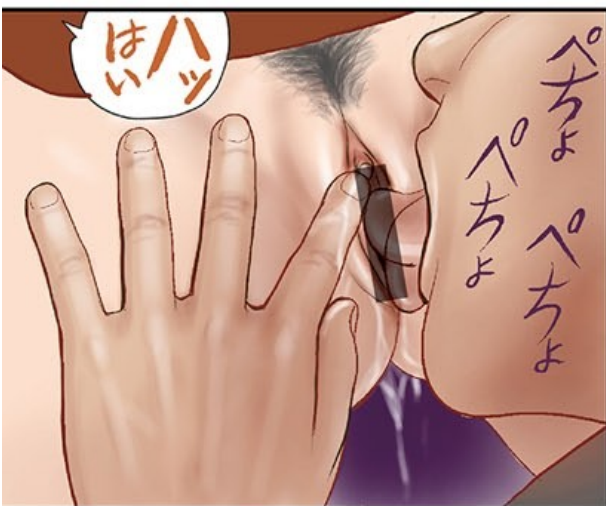
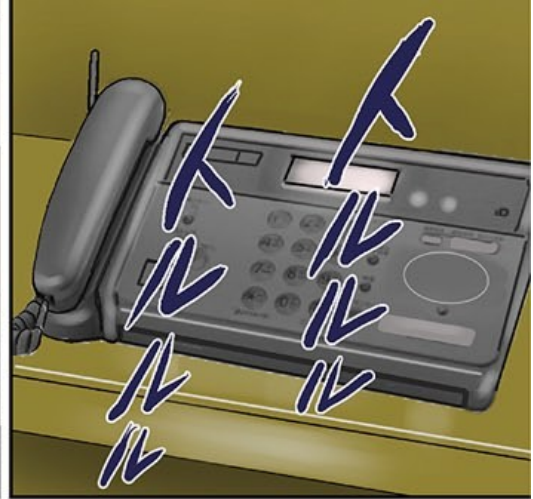
ダメよ

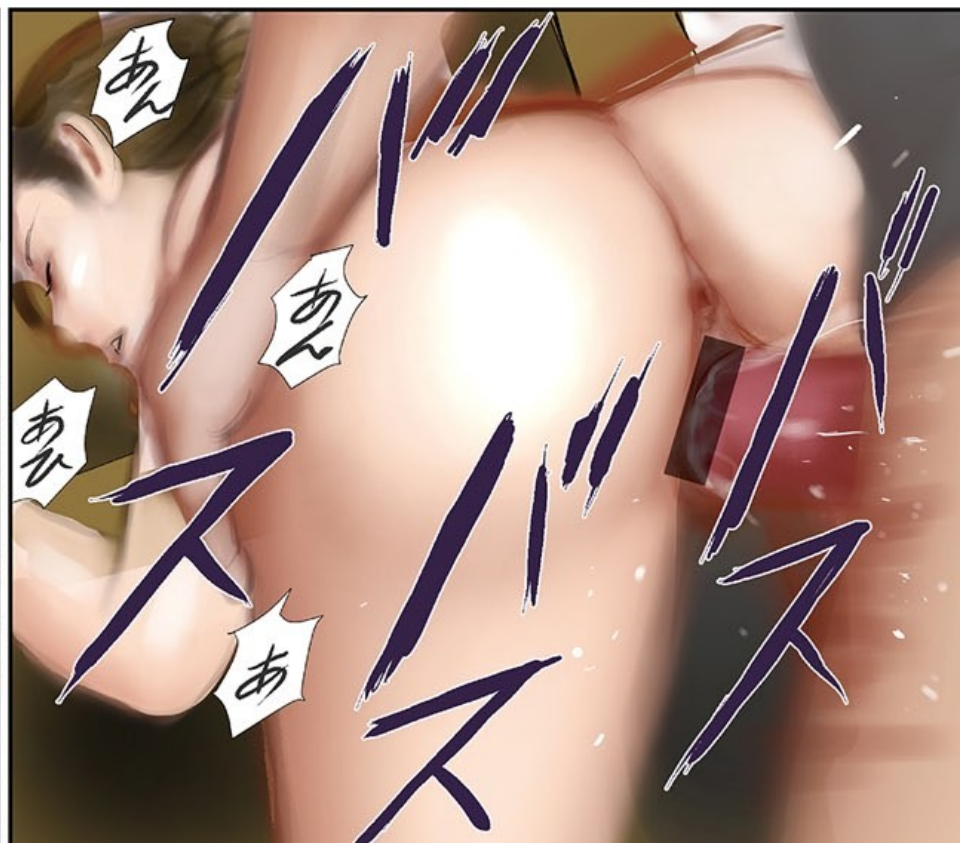
食べて
いいんだろ
抱いていいって
ことだろ

料理のことだと
思ったのよ











あーすごい
肉ビラがめくり
上がってるのが
わかる

あーなんて
硬いオチンポなの
あー気持ちいい
オマンコ気持ちいい

あん

あん

あん

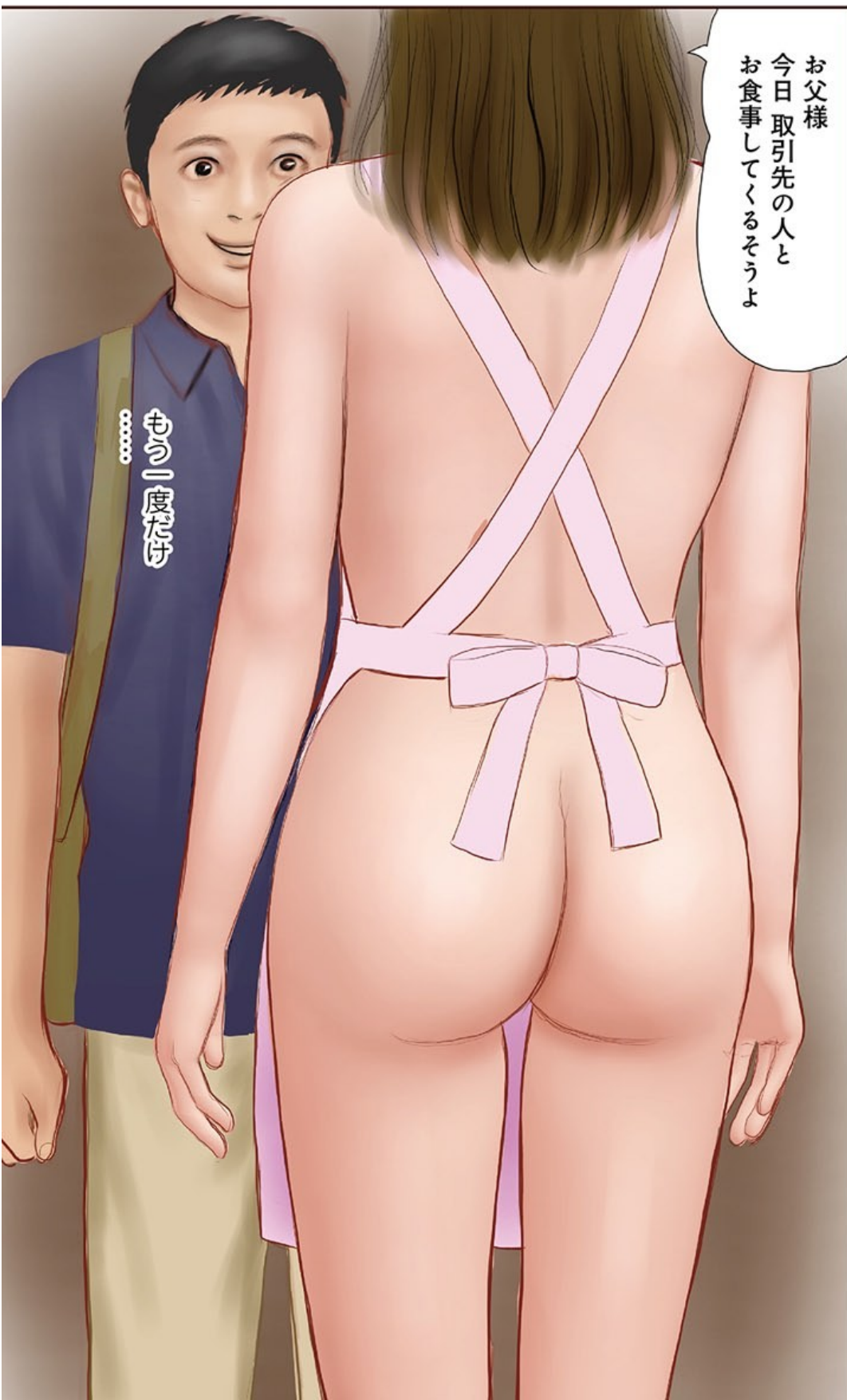
あん

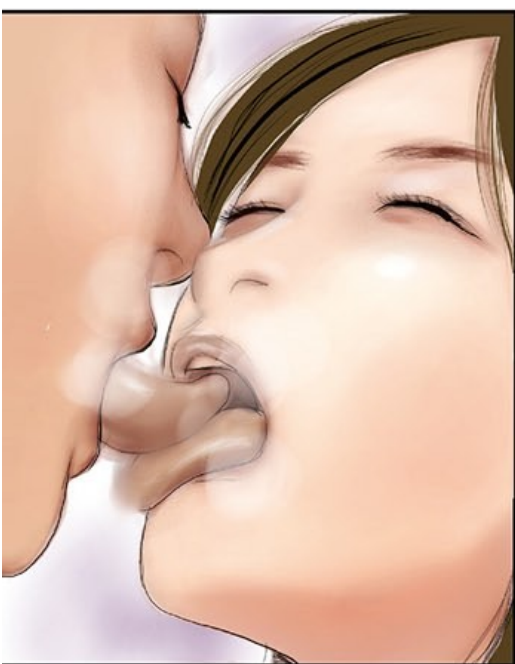
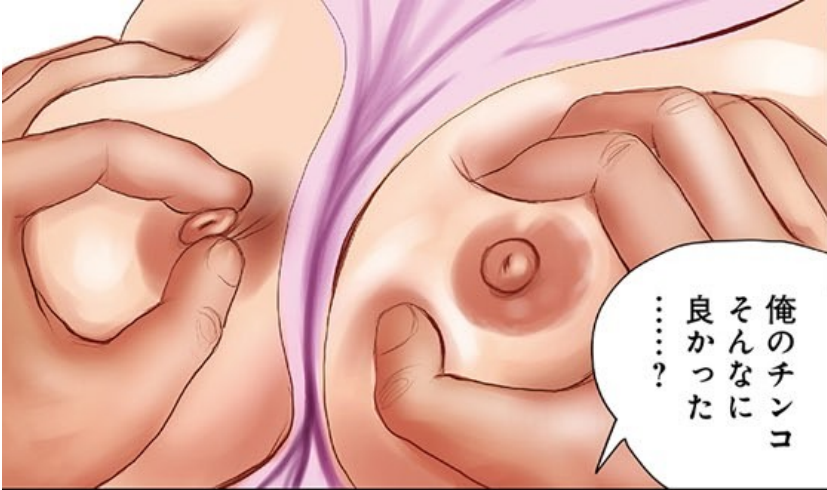


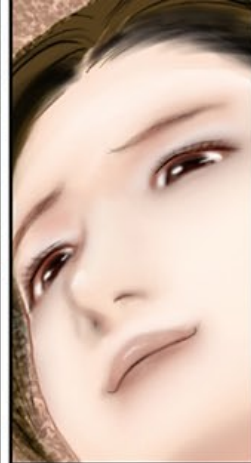
絶頂感を
味わうのは
久しぶり
だったんです



あー
イクう~~~~









膣口を
ペニスの先端に
当てました

にゅ



腰を沈め
ペニスの根元まで
くわえ込みました

あ…
あは…

膣の中が
みっちり
してる…

ぬ



ああ
…

ぬふ

おー
トロトロで
あったかい



突いて
お願い
突いて！



あー
鳥肌が
立ってる

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ



若いペニスが弾け
膣肉をえぐり
突き進んできました

ググググググ
ググググググ
ググググググ
ググググググ

おー
膾肉が食い
ついてくる

ペニスの動きが
加速されました

あはあく〜腰が
腰が溶けちゃうわ

すごい
オチンポ
すごいわあ

うは

おん



あひ





オマンコに
ぶちまけて~~~~

俺もだよ！

ああ
イクイク
イクわ~~~~



熱いものが
膣いっぱい
溢れたんです

あっは~~~~

はあ

はあ

はあ

…まだ
できるわよね



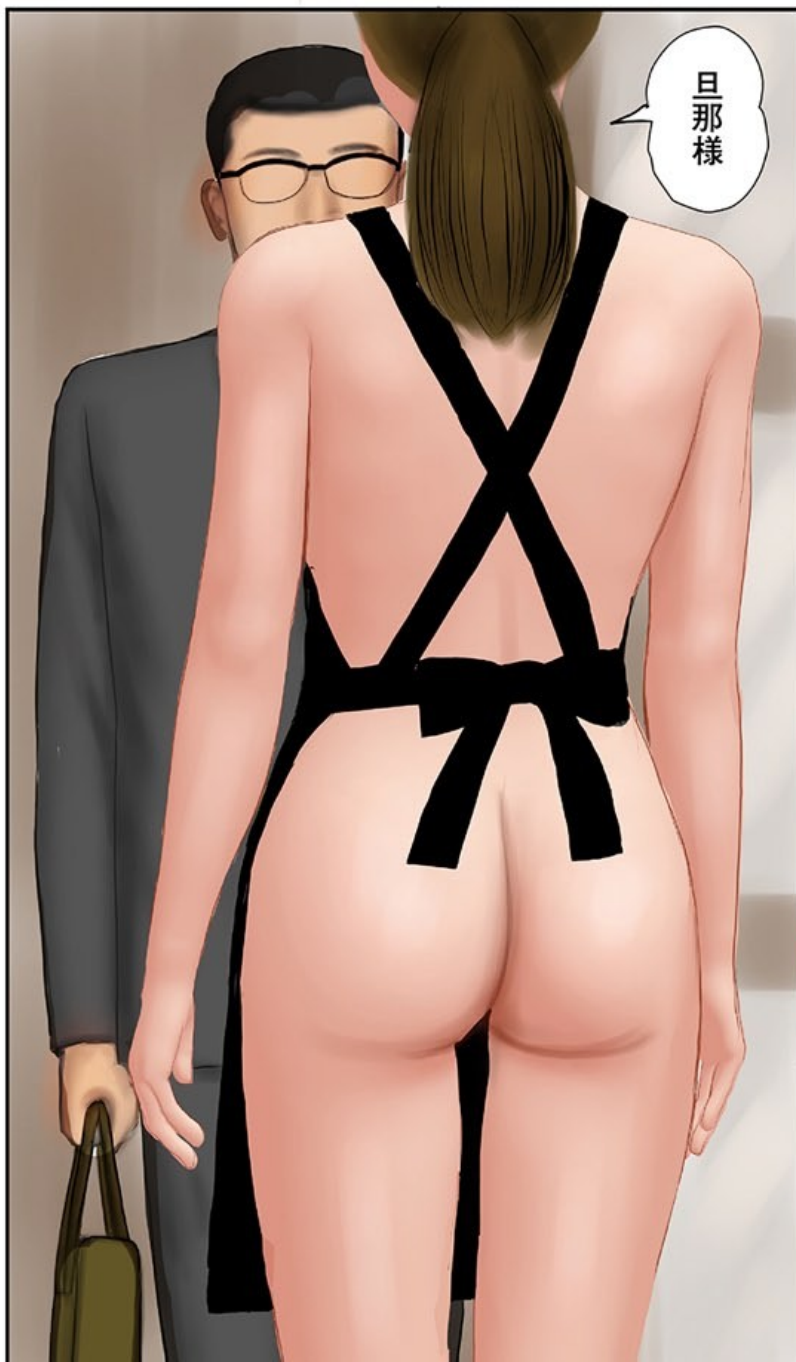
主人には裸にエプロンの
効果はありませんでした



わたし
身体が疼いて
いました

それからも
亮太さんとは
しばらく関係が
続きました

でも彼に恋人ができて
彼はわたしに
手を出すことは
なくなっただです



旦那様

おわり



わたし
我慢できな
かったんです

ただいま



お帰りなさいませ

人妻バスガイド 彼女の股を開いた理由

鈴木ひろみち



俺は中小企業の
サラリーマン

社員旅行の時
俺はもう会うこと
はないだろうと
思っていた女と
再会したんです

今日1日
旅のお供を
させていただきます

あんざいしほ
安西志保です

よろしく
お願いします

その時
初めて名前を
知ったんです

バスに乗車する時
顔を合わせて
驚きました
それは彼女も同様に
……

彼女がバスガイド
だったなんて……

彼女と出会ったのは
俺のアパートの
近くの公園でした

俺は運動不足気味だったので
早朝ジョギングを始めたんです

彼女と何度か顔を合わせ
いつしか挨拶を交わすよう
になりました

おはよう
ございます

おはよう
ございます

それは週に1度か2度
今思うとバスガイドは
朝が早いから
休みの日に走って
いたんだと思います

俺は彼女に惹かれ
彼女も俺に
好意を持ったようで
日時を示し合わせて
一緒に走るようにな
ったんです

俺は自己紹介
しました

でも彼女は自分のことは
語ってくれなかったんです

彼女の弾む
胸と尻を間近にし
チンコが疼いて
いたんです

俺は
スケベ心
いっぱい
でした

俺は彼女が
独身だと思って
いました
何とか彼女と
つきあいたいと
思っていたんです



今日は
短パンか
そそられるな

よし当たって
砕けるだ

…あの
今度一緒に
食事でも
しませんか

……あたし
結婚してるの



え…

彼女は
スピードを
あげ…



公園に隣接する
雑木林に入って
語ったんです

…あたしの夫
今単身赴任中なの

あたしも
ついていったほうが
いいと思って
るんだけど……

仕事辞め
たくなくて
迷って
る……

もうあたしに
関心なくなった

彼女は
パーカーの
ファスナーを
下ろしたんです

…そんなこと
ないです

ふー
熱い

誘ってる



人妻だからといって
据え膳食わぬは男の恥

そう思ったんです

今日のことは誰にも
話さないでね

わかってるよ

……年は
いくつなの

33 ……

俺より
六つ年上か

あ…
あ…
あ…

割れ目は
かなり濡れて
いました

旦那と離れて
どのくらい経つのか
わからなかったけど

チンコが欲しくて
寂しかったんだろうと
思いました

くちゅ
くちゅ
くちゅ



彼女はチンコを
引っ張り出しました



唾液を泡立て
舌と唇でチンコに
擦り付けているのが
巧みでした



気持ちよくて
鳥肌がたって
いたんです

あー
たまらない



入れるよ

ああ

ぬる



俺は彼女を
満足させようと
腰の動きを
フル回転しました

彼女は
悶えていました

うはあ

ぬいじゅ



それからも
彼女を目に
することは
なかったんです

もしかしたら
仕事を辞めて
旦那のところへ
行ったのではと
……

それなら一言あっても
いいのと思いました



彼女とは
次に会う日時も
決めたんです
でも彼女は現れ
ませんでした



バスガイドの
制服を身にまとった
彼女と再会し……

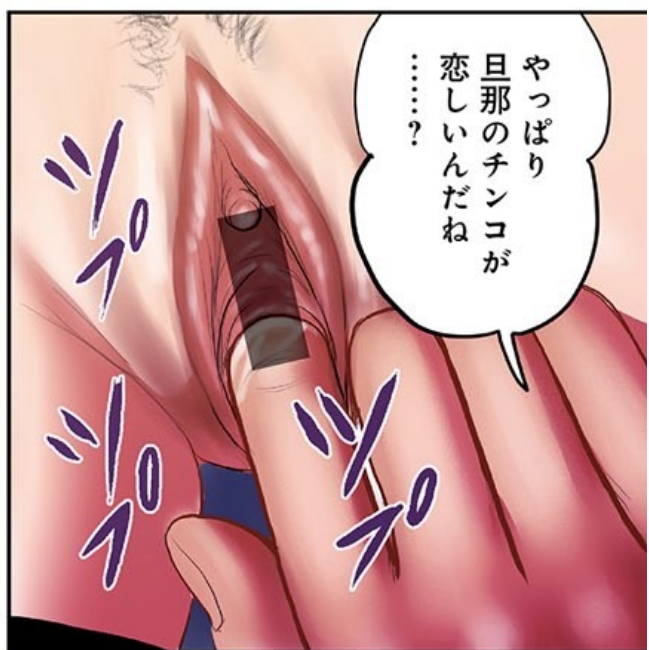
俺は欲情心を
駆り立てら
れたんです



何だかやり逃げ
されたようで
ちよつと悔しさが
残ったんです

あれから
一ヶ月ほど
経っていました







人妻バスガイドの
卑猥なオマンコ

うーん
そそられる

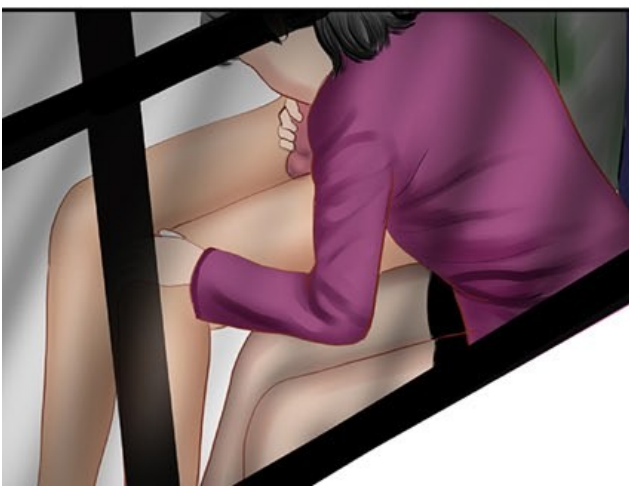
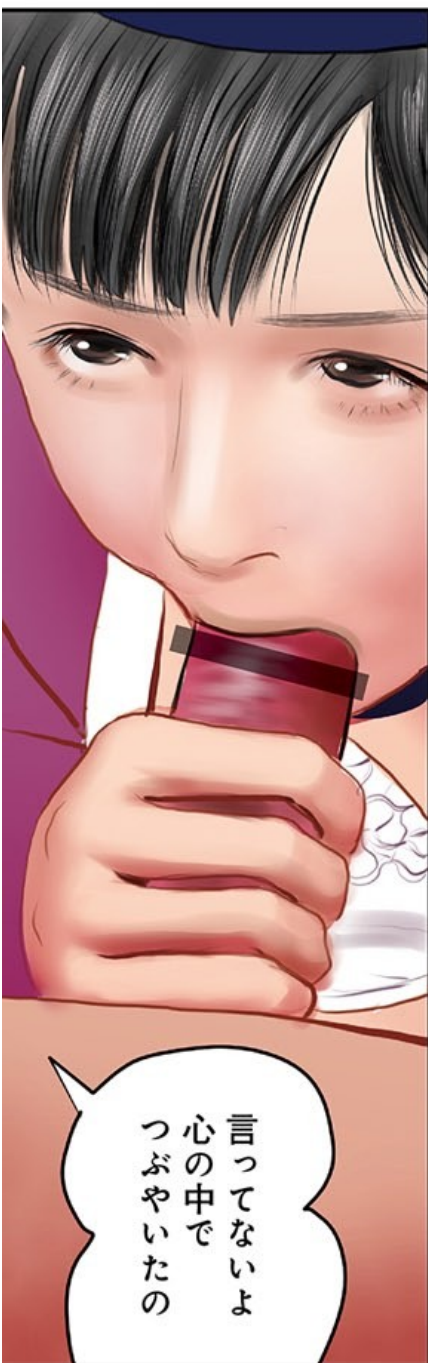


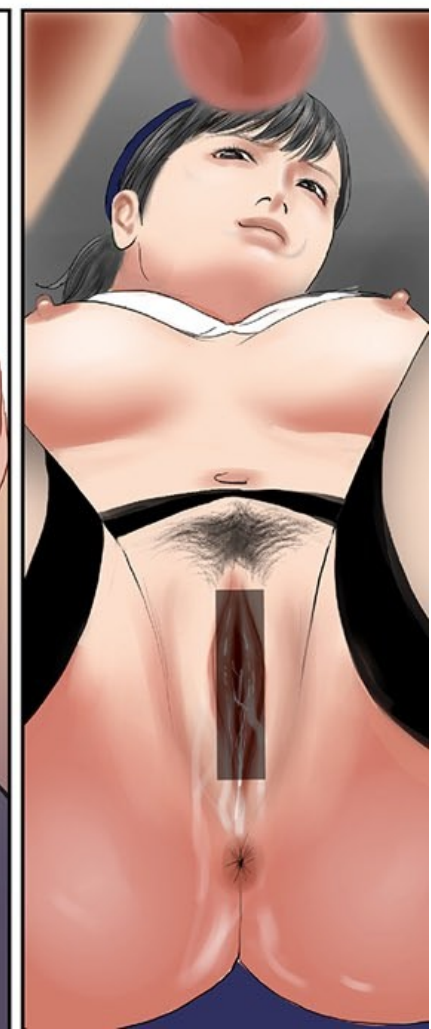
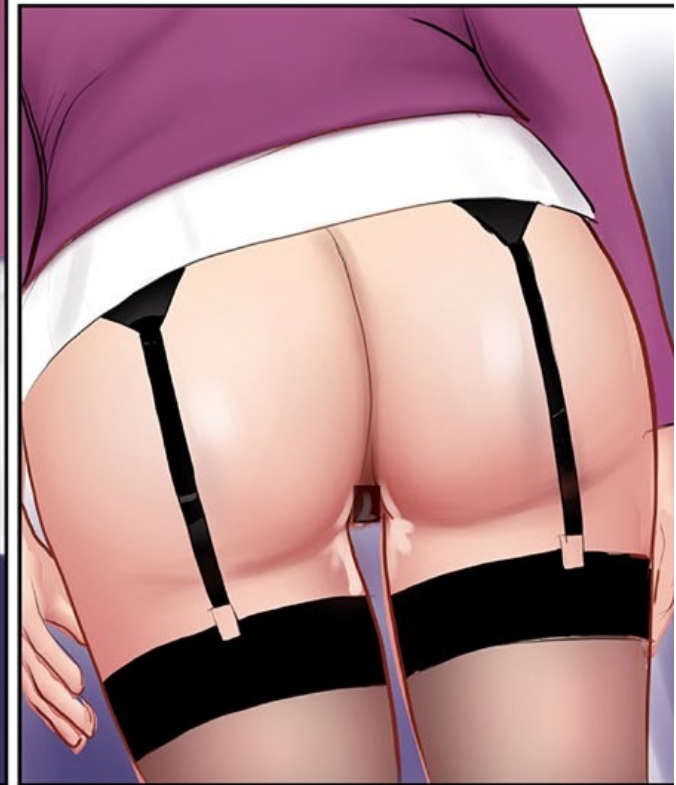
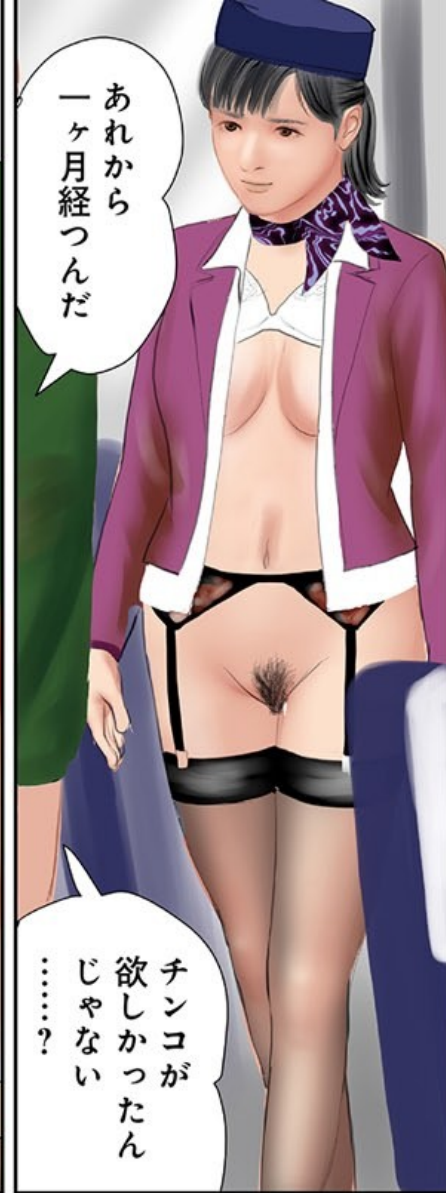
粘り気のある
濃厚な
マン汁だ

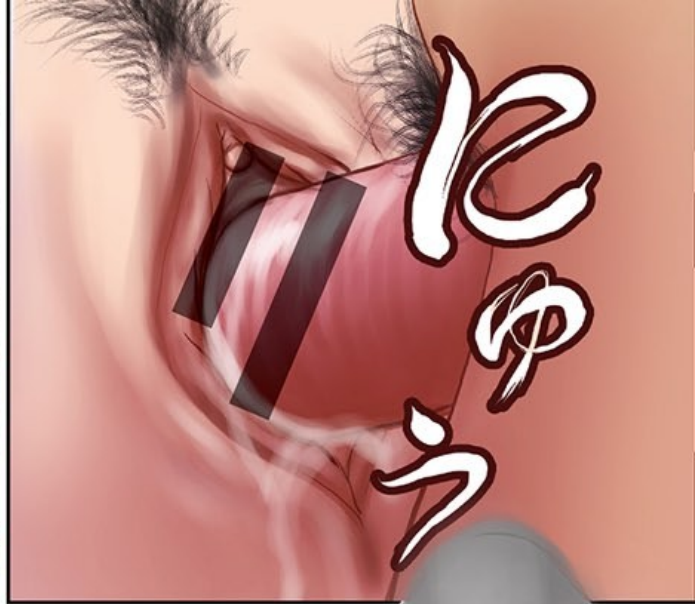
ああ...
ああ...

あ...

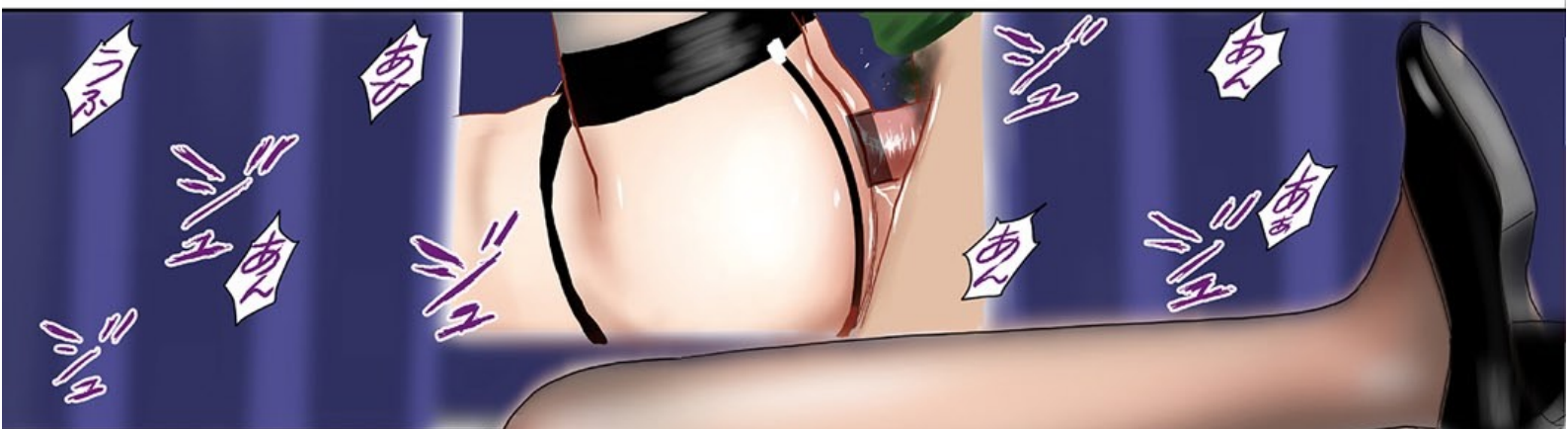














ガイドさん
発射するよ

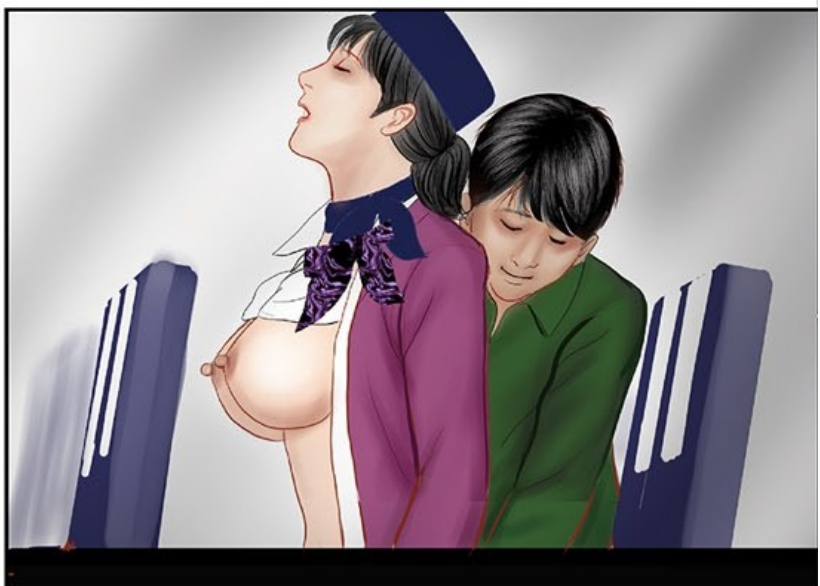
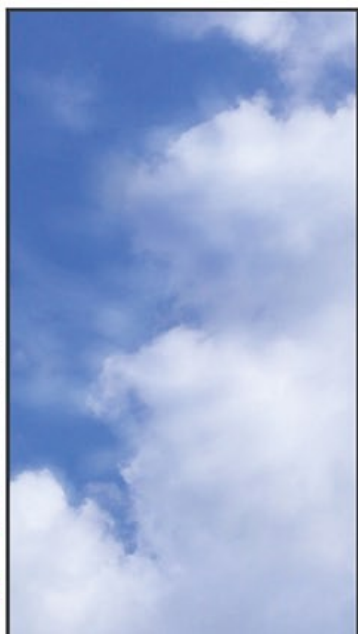
ほら
何ていうの！



発射オーライ〜



それから
彼女は涼しげに
笑みを絶やさず
職務を遂行
したんです





俺は早朝ジョギングを
続けています

新たな出会いを
求めていました



彼女は退社届けを
出したと言いました

そして
退社するまでの間
もう少し
楽しんでいこうと
思ったようです

おわり



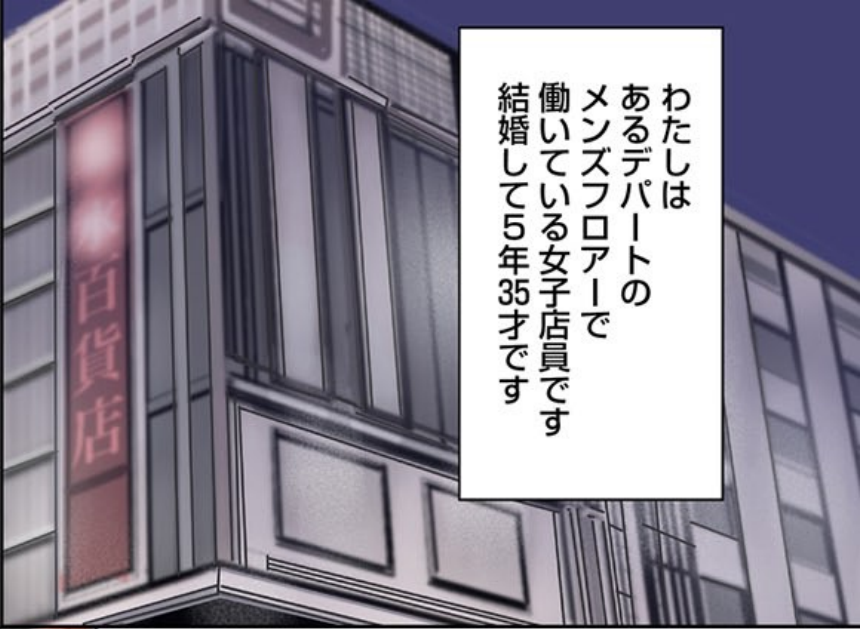
志保さん



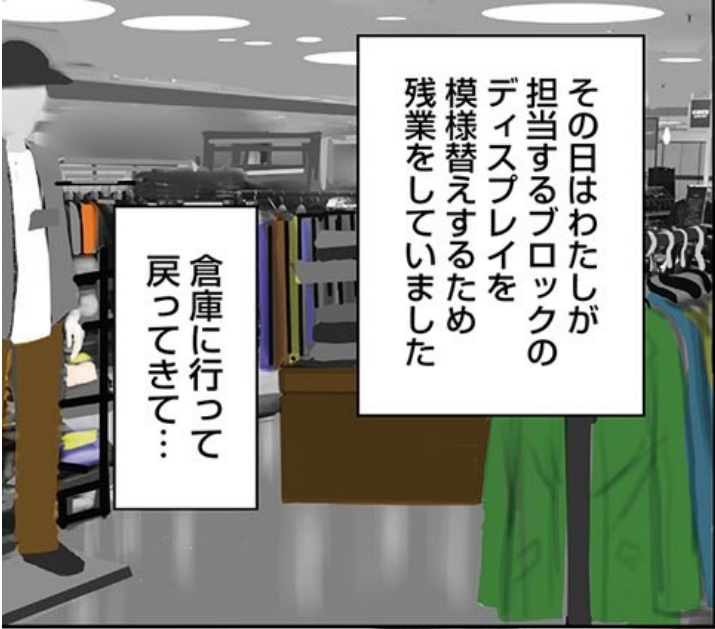
欲情の試着室

鈴木ひろみち





わたしは
あるデパートの
メンズフロアで
働いている女子店員です
結婚して5年35才です



その日はわたしが
担当するブロックの
ディスプレイを
模様替えるため
残業をしていました

倉庫に行つて
戻つてきて…



あるメーカーが
テナントとして
入っている店を
通りかかりました

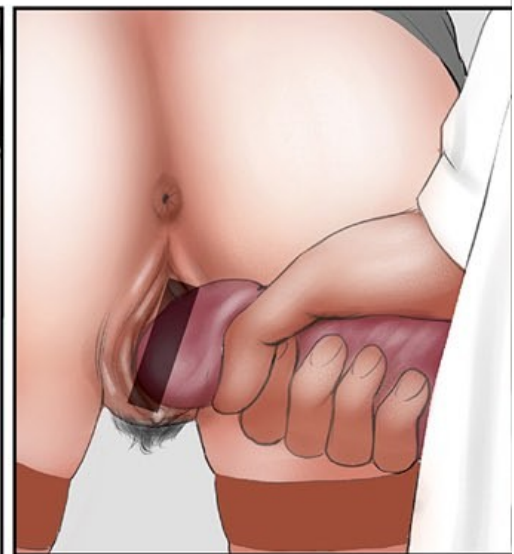
二人は
メーカーから派遣
されてきた販売員

キスをして
お互いの性器を
触っていたんです

うやうやしく……



その時
わたしは
目が釘付けに
なつたんです







……背後から
歩み寄る人に
気づかなか
ったんです



……わたしが
してたこと
気づいたかしら

心臓が飛び出し
そうでした

彼は
別のメーカーの
販売員でした

あおい
青井くん
わたしより
10才年下の
独身です

腕を取られ
引っ張られて
行きました

どうする
つもり……

何？
わたし
まだ仕事
が残って
るの

僕
もです
よ

でもあんな光景見たら
仕事
が手につ
きません
よ

そうでしょ
ひろた
広田さん
だって
……

心配しないで
ください
言いふら
したり
しません
よ

広田さんが
店内で
オナニー
してた
なんて

……
気づいて
た

試着室

この辺りで
残業してる物は
いないみたいだ
ここなら
安全ですね



安全…

どういうこと？

さあ
入って

ちょ
ちよ
っと

言うこと聞かないと
オナってたこと
言いふらしますよ



広田さん
欲情してるんでしょ

僕もなんです
広田さんの
オナってるところ
見ちゃったから





俺ね
一度試着室の中で
やりたいと
思ってたんです

……
ゾクゾクするな

広田さんは
どうですか

あたし
犯されるの



猥談は
尾ひれをつけられて
店内に広まって
しまうのです



わたしって
淫乱……



あ……だめ
耳だめ……

…… ああ



そんなこと
思ったこと
ないわ

本当ですか
広田さんは売り場で
オナニーする
淫乱女じゃないですか

実際のところ
何度か妄想した
ことがあったんです



年上の
人妻よ

人妻を好きに
なっちゃ
いけないですか



俺前から
広田さんのこと
いいなって
思っていました



忘れますよ
だから…



思われてるのは
悪い気はしないわ
でも手を出すのは
良くないんじゃない



広田さんが
いけないんですよ
オナニーなんか
してるから

そのことは
忘れて

ああ…
割れ目に
食い込んでる



青井くんは
いきなり
舌を突き入れて
きました

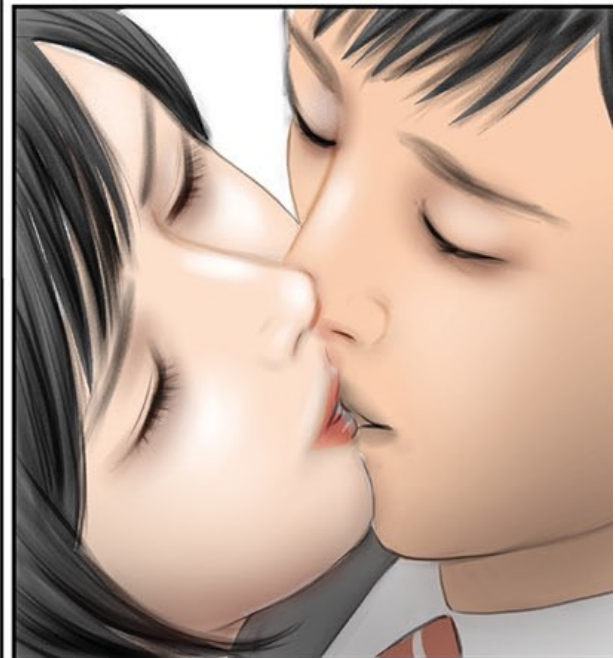
……あたしも
舌を使う……でも
あんまり積極的だと
やる気があると
思われる……

……
だけどいい年して
キスの仕方知らない
なんて思われるのも
……

……
それじゃあ
ほどほどに
……



キスして



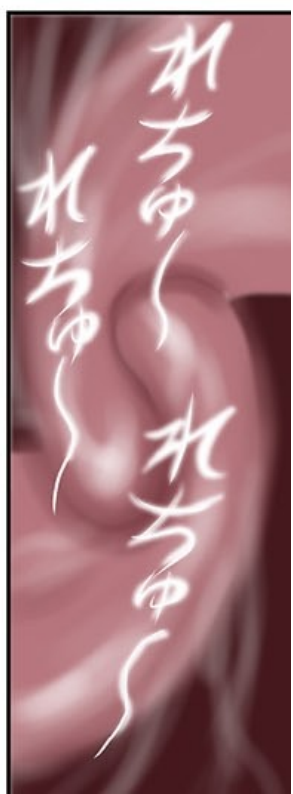
ああ……
腰が疼く

ぺちよ
ぺちよ
ぺちよ



……あ
当たってる

彼の股間の
もっこりしたものが
わたしの三角地帯を
押していました

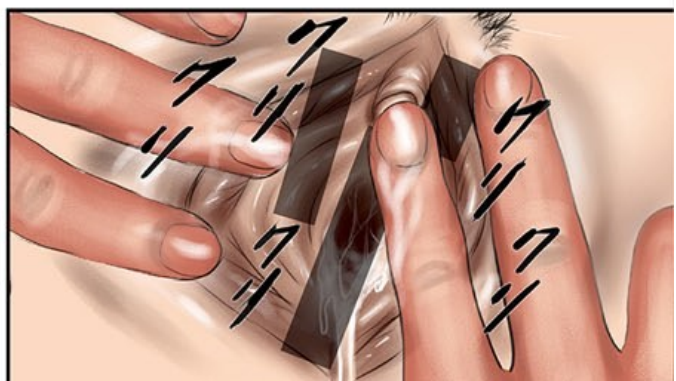


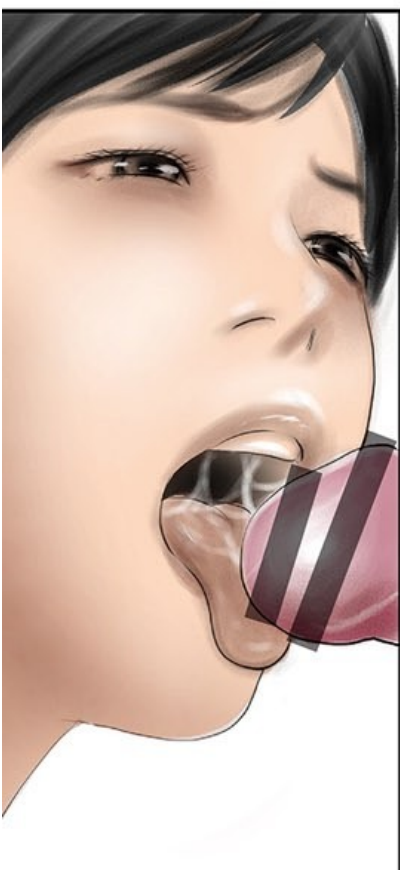
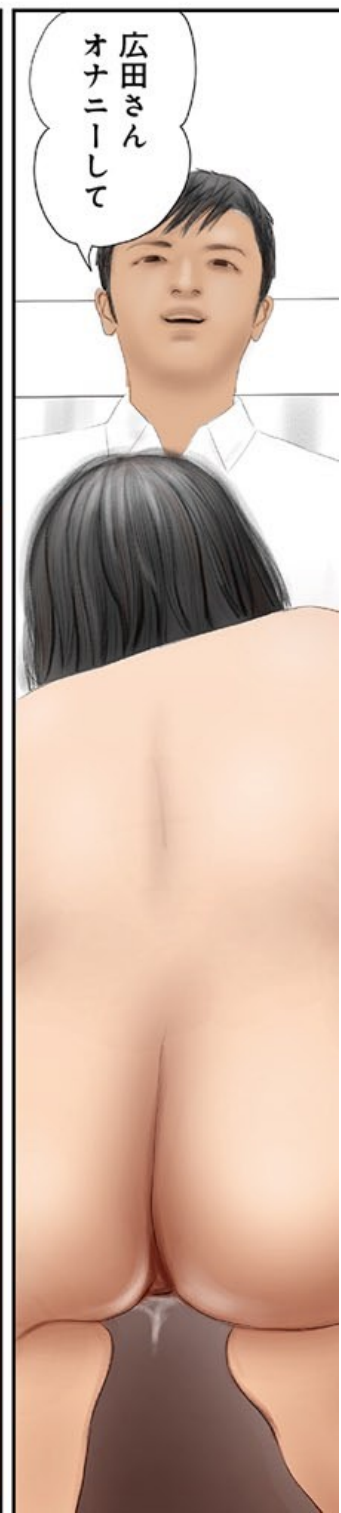
れちゅく
れちゅく
れちゅく





試着室



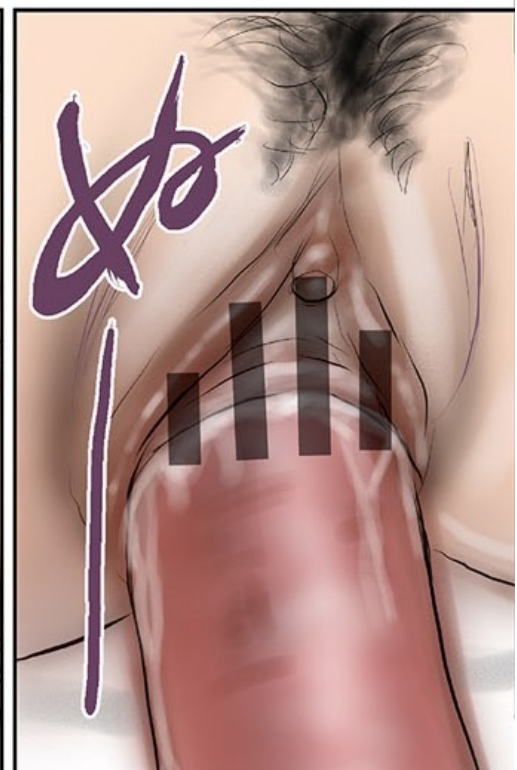
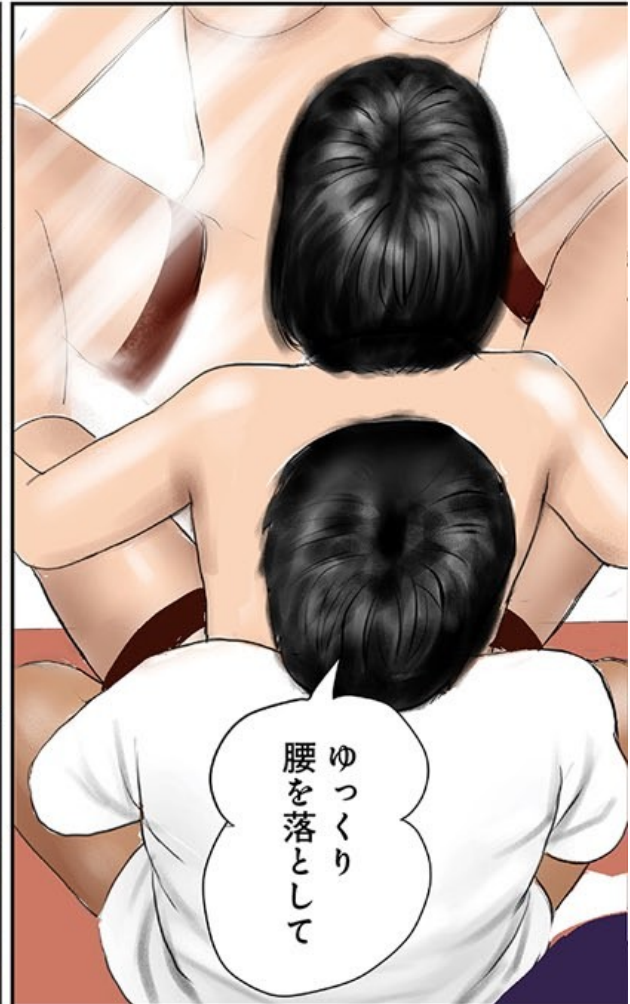


それじゃあ
入れるよ

…どんな
体位が
いいかな

……
やっぱり
これだな

あ…や
……





ぐちゃぐちゃ

んはあ

あ

あほ

あ

あ

いつも
涼しい顔して
お客様と接してる
この場所で
こんな淫らなこと
……

あー
感じる
感じるわあ

おお
あんなに
びらびらが
まくり
上がってる

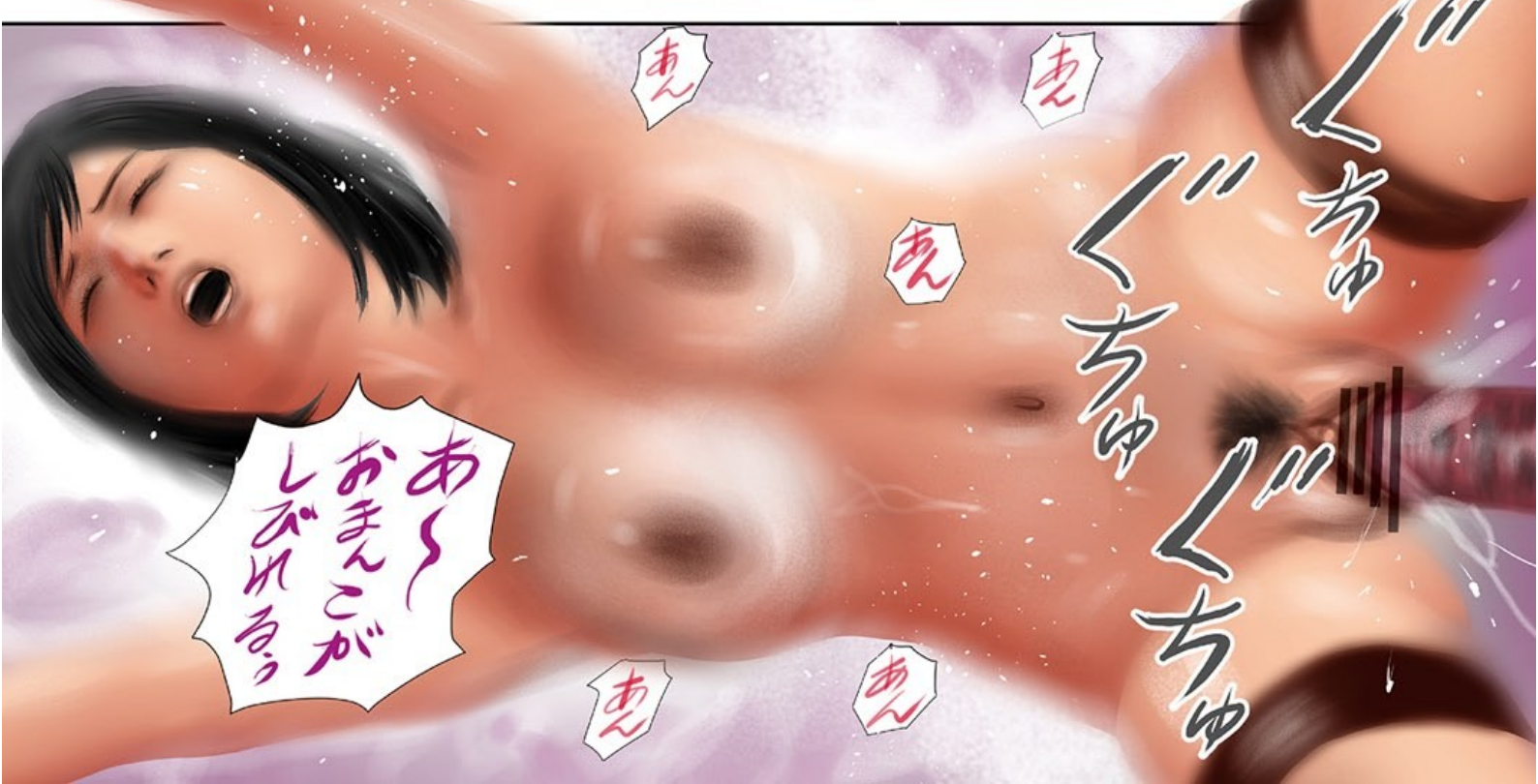
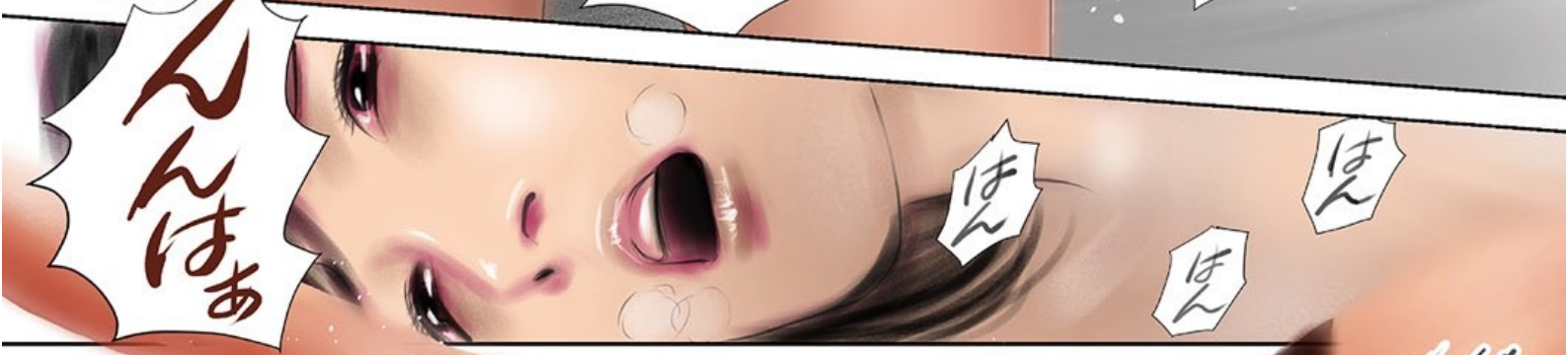
にゅぽ

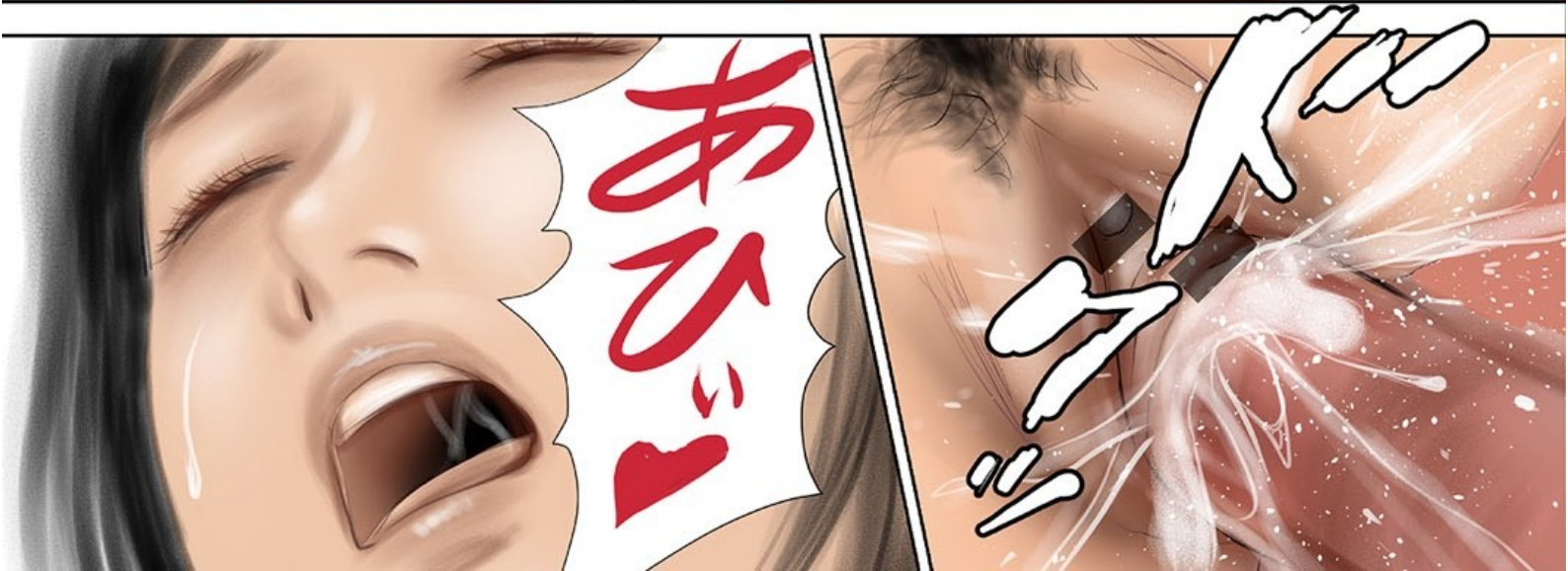
にゅぽ

にゅぽ

にゅぽ

やっぱり
わたしって
淫乱なのね





青井くんと関係を
持っていたのは
彼が他店に
移動するまでの
半年ほど……

百貨店

試着室

それからわたし
試着室の来ると
身体が疼くのです

うちのデパートに
お越しの際は
どうぞわたしに
お声をかけてください

このぐらいで
よろしい
でしょうか？

試着室で
特別のおもてなしを
したいと思っています

おわり

兄嫁の 柔肌の感触

鈴木ひろみち



俺は26才の会社員
手首を骨折して
兄夫婦の家で世話に
なっていました

怪我の具合も
良くなり
自分のアパートに
戻る前日……

俺は義姉^{あね}を
抱いたんです



義姉の真澄^{ますみ}さん
29才専業主婦

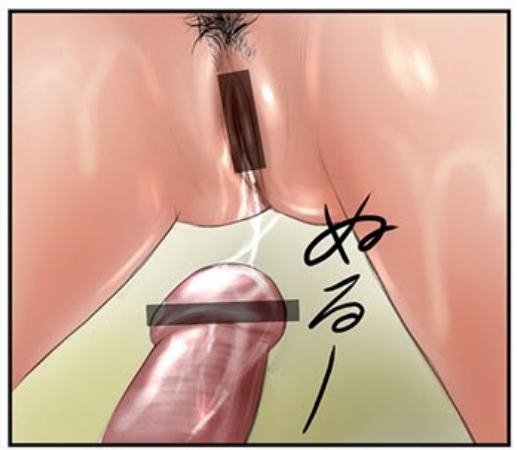


それは
だめよ



中に出しても
いい？

義姉は
利き腕の不自由な
俺を甲斐甲斐しく
世話を焼いて
くれました



それは
手の怪我は
真澄さんが
原因だったんです

ここまで
してくれるのには
訳があったんです





兄弟夫婦はテレビで
フィギュアスケートを見て
感化されて氷の上に
立ってみたいになったんです

それは
スケート場
でのこと…

ああ
出る！



多少滑れる俺は
その時お供を
したんです

なによ
少しは滑れるって
言っただけに

俺に
つかまんなよ

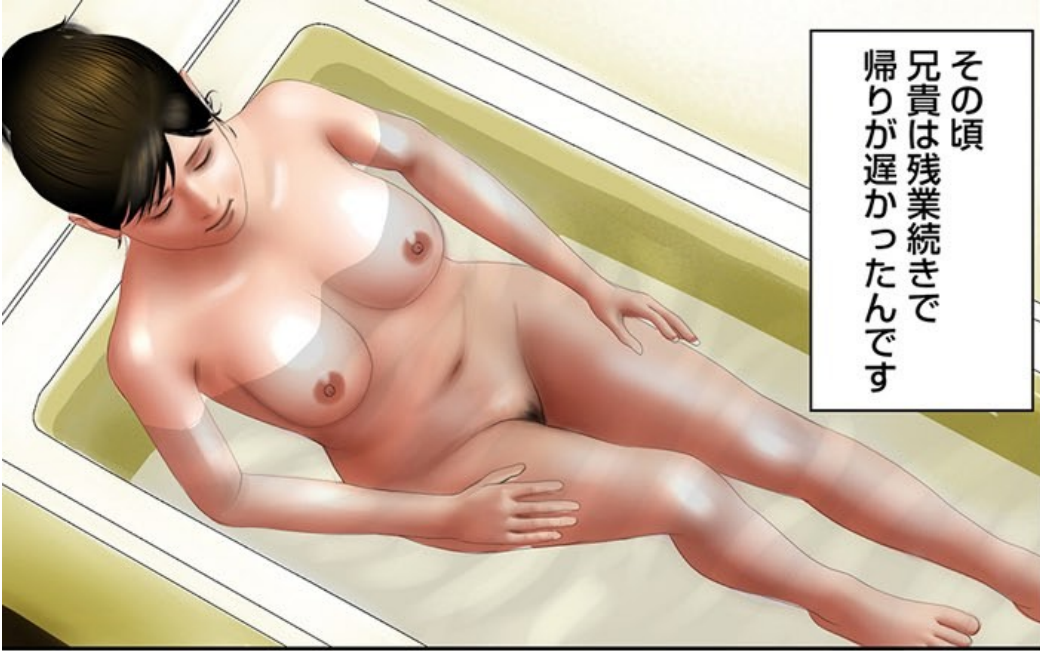




そして
自分のアパートに
戻る前日……

義姉を抱きたいという
衝動に駆られてたんです

その頃
兄貴は残業続きで
帰りが遅かったんです



……兄貴の
奥さんだぞ
やっぱり
まずいよな



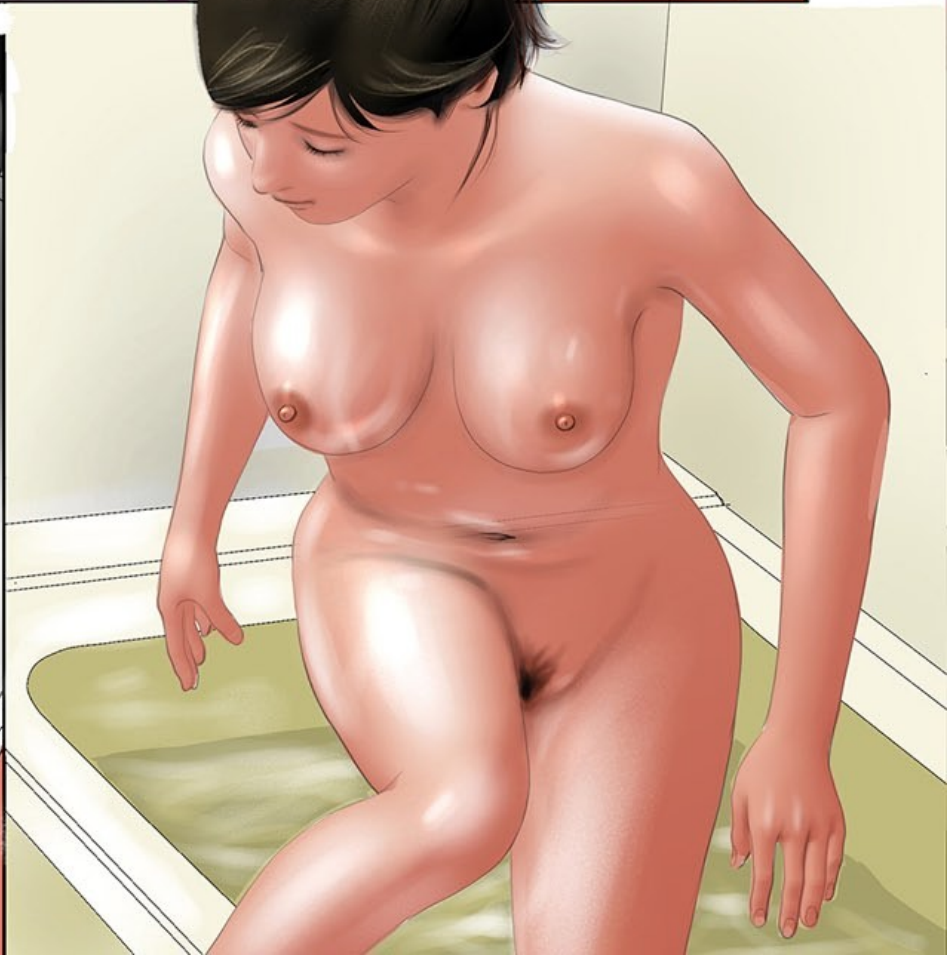
真澄さんの
使用済みの
下着……

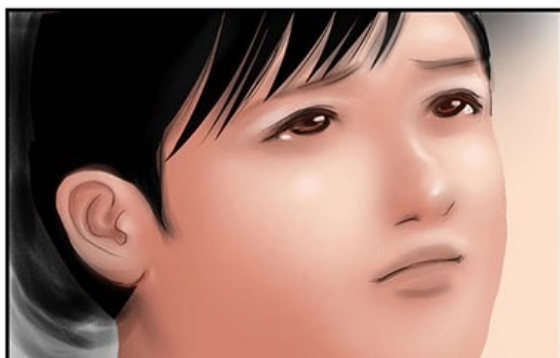


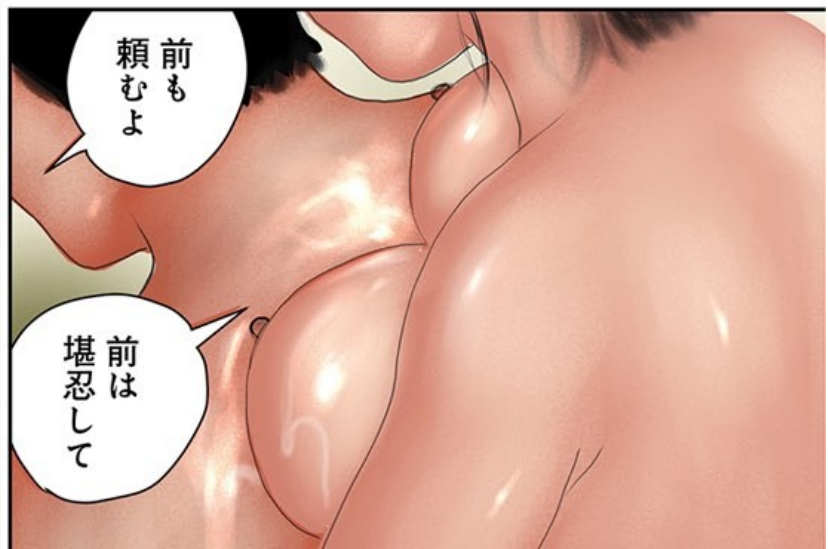
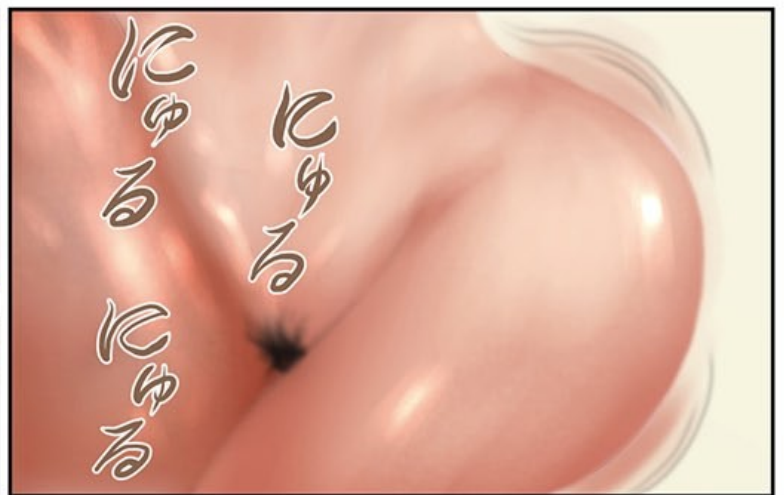
真澄さんの
マンコの
匂い……



だめだ！
我慢できない！









離して
……

ああ
だめよ……



じっとしててよ
手が疼くよ

ああ……
入れちゃだめ

にゅにゅ



治りかけてるのに
悪化しちゃうよ

義姉が力を
抜きました

にゅにゅ

ああ~~~~



兄貴
世話になったね

まだ
無理
すんなよ



義姉も興奮して
いたようで
膣の中はトロトロ
だったんです

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ



兄貴寝室に行ったよ
寝入ったの確認したら
俺のところに来てよ

こなかったら
俺のほうから行くよ
そして兄貴の寝てる
横で……

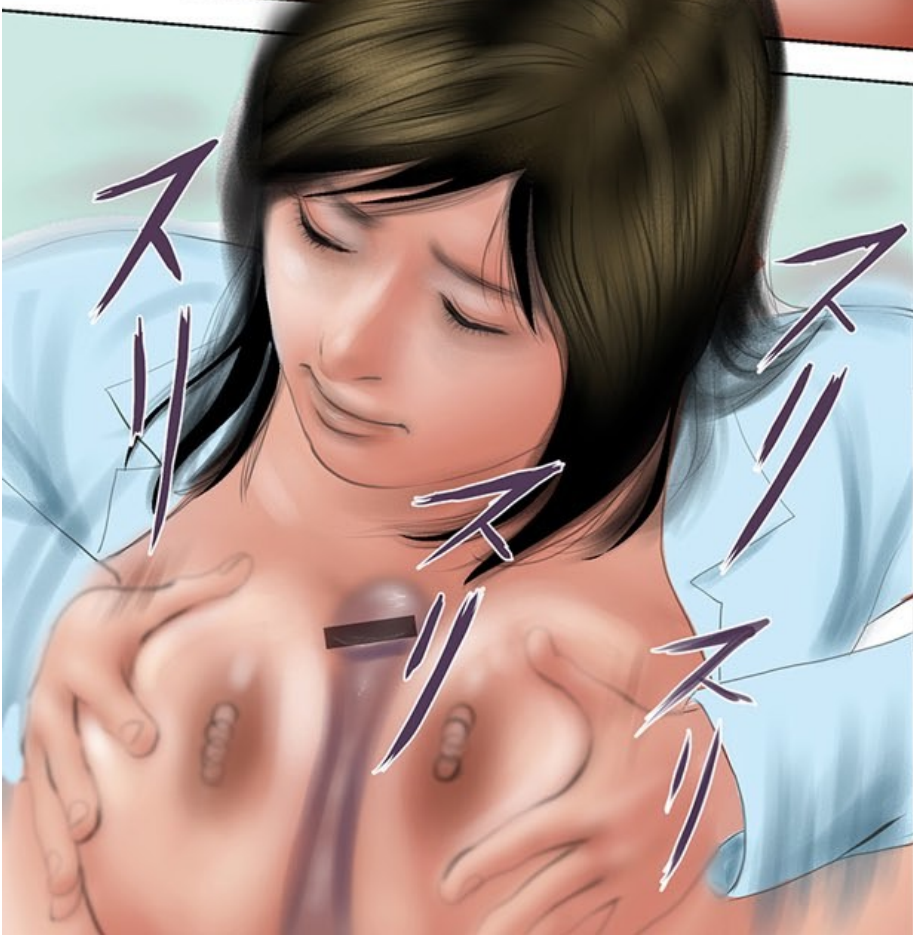


真澄さん

俺はまだ
ムラムラした気持ちを
抑えられなかったんです

ただど半ば諦めて
うとうとしていた時
義姉はあらわれ
たんです

A vertical manga-style illustration of a woman with short brown hair, looking upwards with an open mouth. She is wearing a light blue shirt and is unclothed from the waist down. Japanese text 'ああ' (Aa) is written in purple in the upper right, and 'ぺちよ' (Pechiyo) is written in black on her thighs and near her groin. A hand is visible at the bottom, near her groin.







今で
経験した
セックスで
一番刺激的
でした

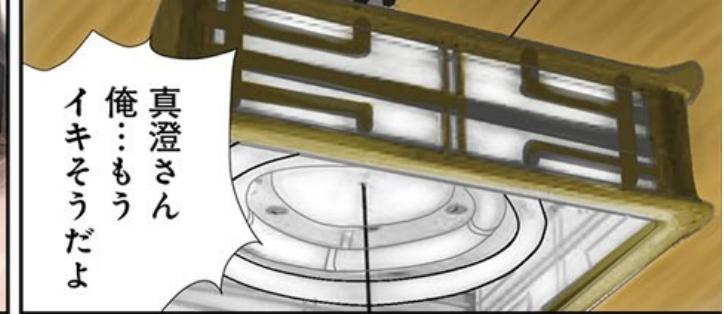
あはあ

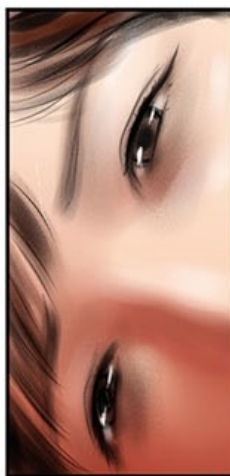


もっと
もっと突いて！

オマンコ
めちやめちやにしてえ！

んちゅ
んちゅ
んちゅ
んちゅ



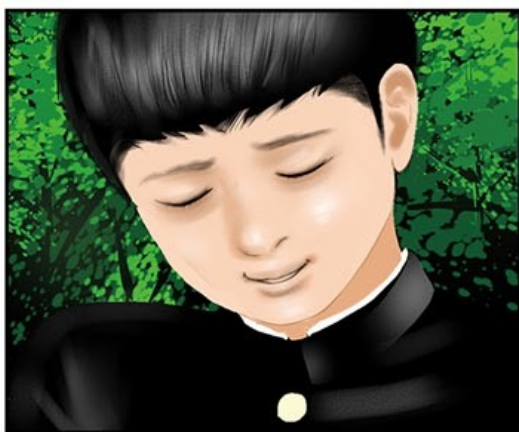


おわり



……佑樹くんも
やってごらん

握って
こするのよ



どう…?

気持ち
いいでしょ



ああ!



俺にオナニーを
教えてくれたのは
従姉の亜美ちゃん
だった



クリスマススイズ
ロマンチックで欲情

鈴木ひろみち



どうぞ

クリスマスイブの夜
会社帰りに
俺は亜美ちゃんの家を
訪れた



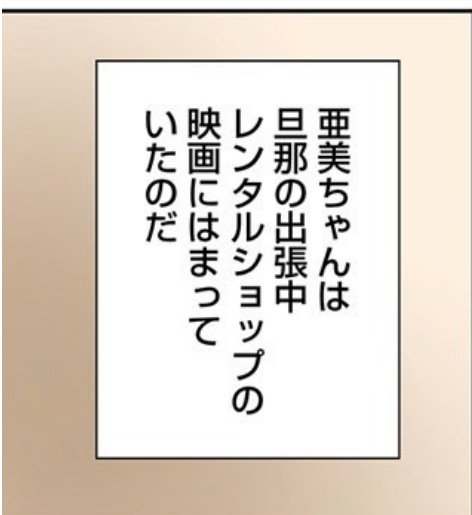
サンタの
コスプレか…

メリークリスマス



こんばんは





映画の内容は
思ってた以上に
甘くて切ない
ラブストーリーだった

胸にグッと
迫ってくる
ものがあつた

……亜美ちゃんと
二人っきりなんて
なかったな

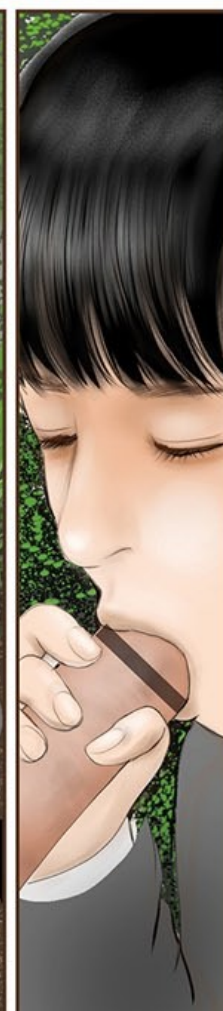
亜美ちゃんは
完全に映画に
入り込んでいた

グズン
グズン

あれ
以来か
……

過去のことが
脳裏に
浮かんできた
……

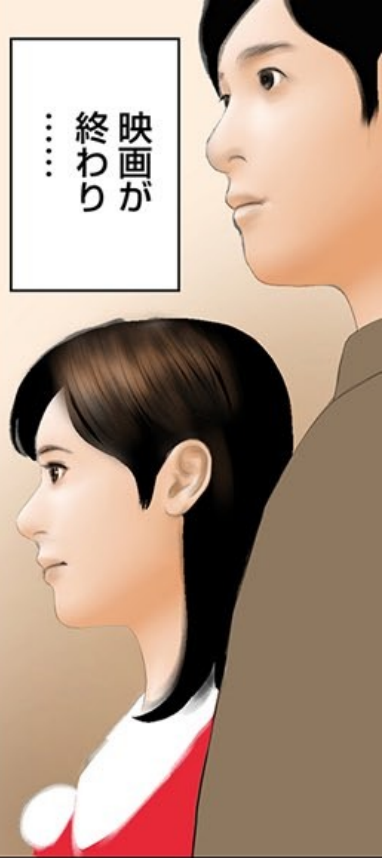
佑樹くん
おっぱい触らせて
あげるから
オチンチン触らせて



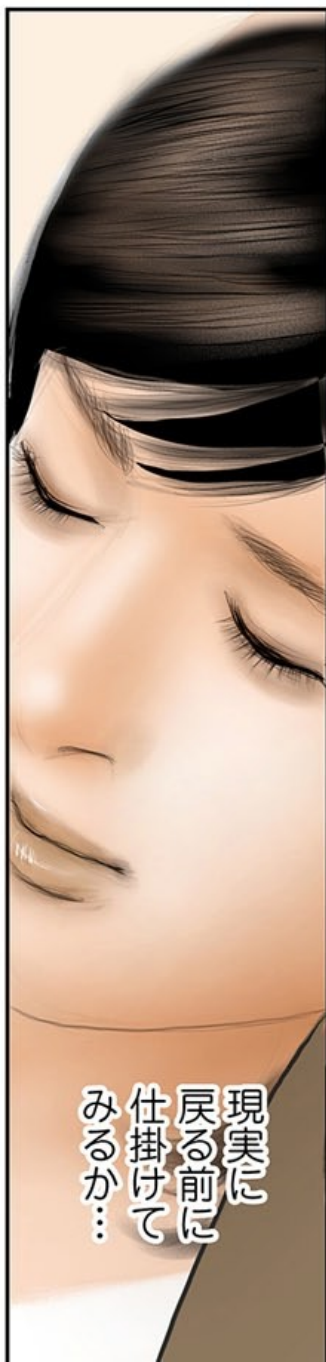


亜美ちゃんが
すり寄ってきた

切ないわ……



映画が
終わる
……

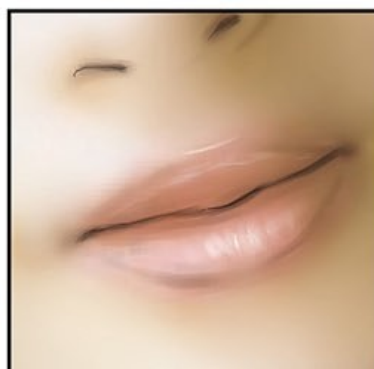
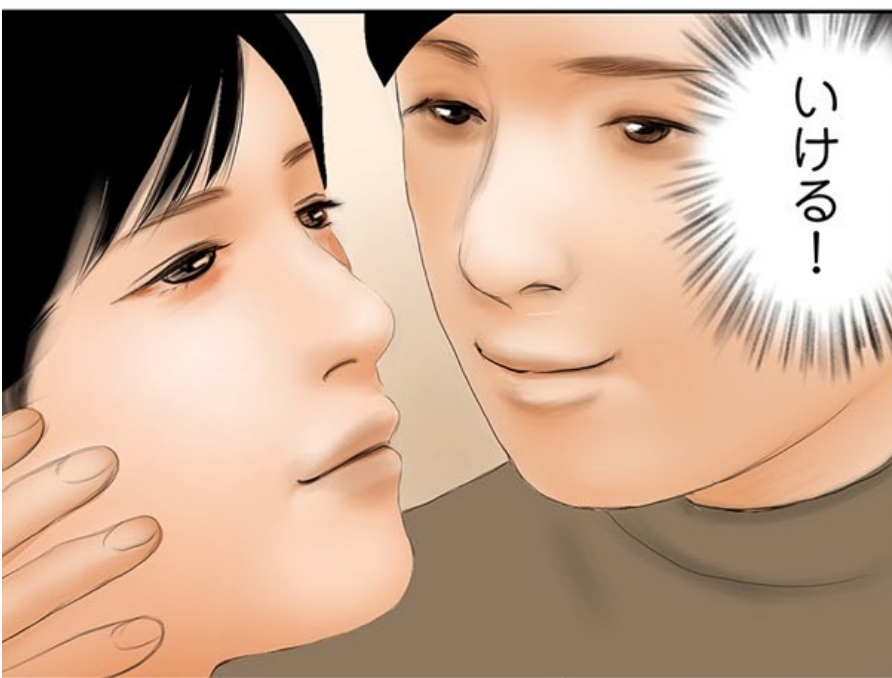
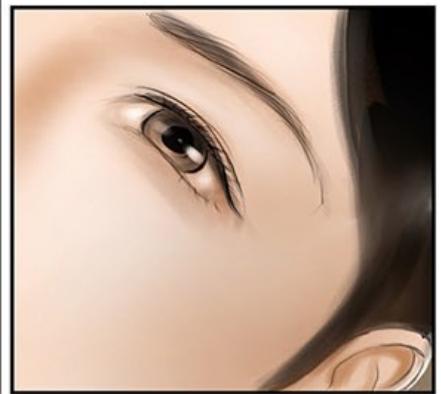
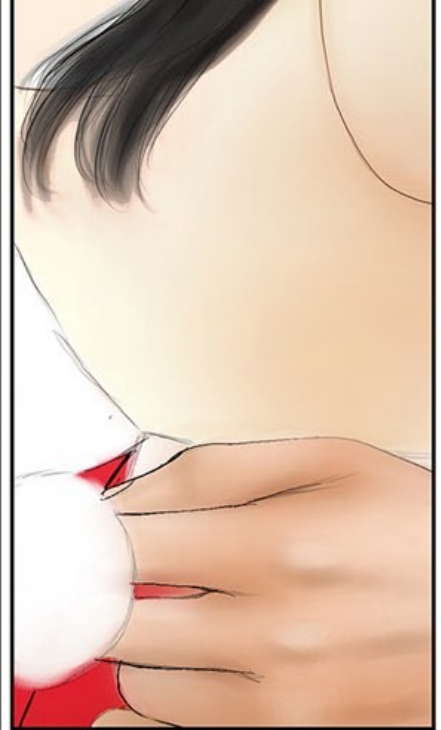


現実に戻る前に
仕掛けて
みるか……



亜美ちゃんは
ロマンチックな
余韻にひたって
いた……

……いや……
誘ってるのかも……
旦那が出張に出て
一ヶ月余り……
溜まってるのかも





んんふ

亜美ちゃんの
甘い鼻息が漏れ
俺の口の中は彼女の
ワインの混じった吐息で
満ち溢れていた

しばらく
亜美ちゃんの口を
吸い続けた……

亜美ちゃんは
うっとりしている
ようだった



エロモードに
入ったな……



舌を突き入ると
亜美ちゃんの舌が
滑らかに走りだした



乳首が
しこり



従姉の
熟したマンコ

びらびらが
めくり
上がってる

言わなくて
いいの……

恥ずかしいの
かつて股開いて
俺に舐めさせた
くせに

ぴちゃ

ぴちゃ

ぴちゃ

うは

あは

あうん

濃厚な
マン汁だ

ぺちよちよ
ぺちよ
ぺちよ

ぺちよ

はん

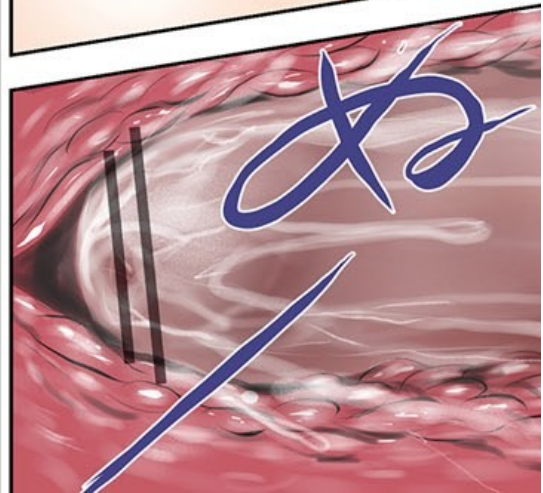
はん

はん

ああ
きもちイイ

次は
亜美ちゃんの
番だよ





お〜
とろ肉が
うめ
蠢いてる

あ

あ

あ

うは

家

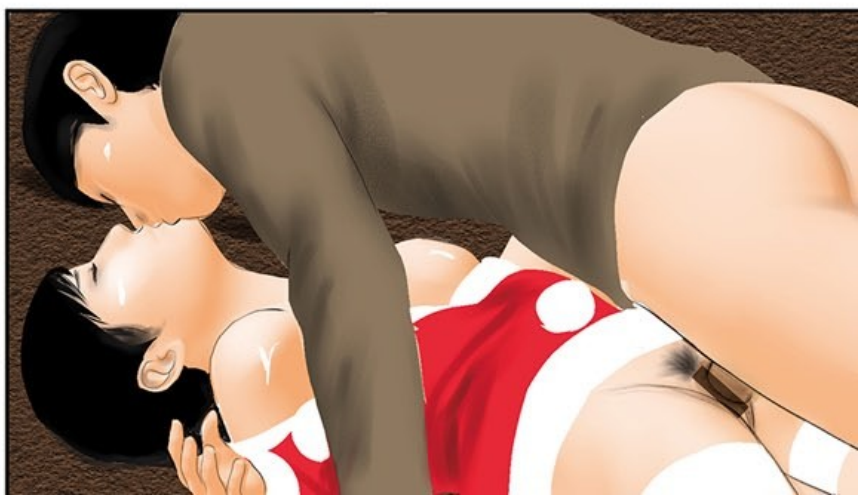
はあ

あはあ

100

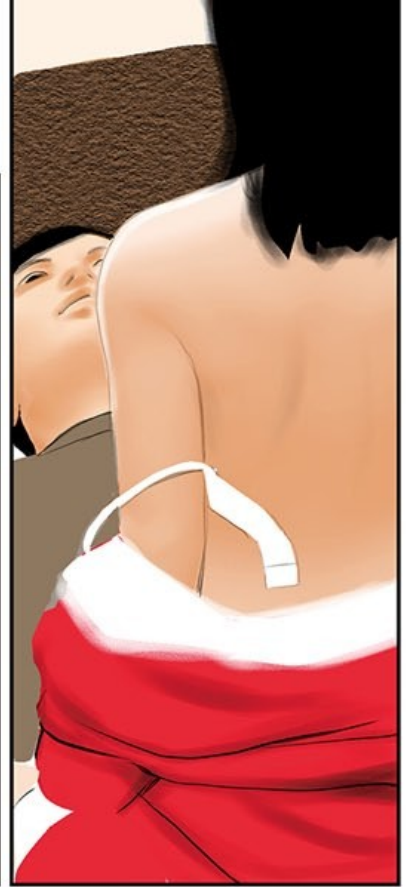
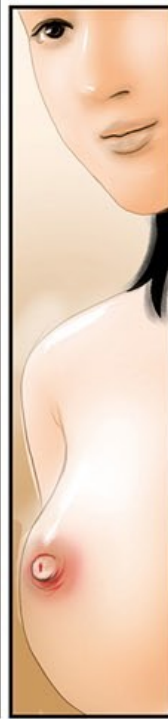


興奮しすぎた
ピッチが早すぎる
これじゃあ
すぐ発射してしまう





やる気
マンマンだ



亜美ちゃんは
腰をグラインドさせ
俺のチンコを
かき回した

あん

あん

あん

あん

あん

ぬちゅ

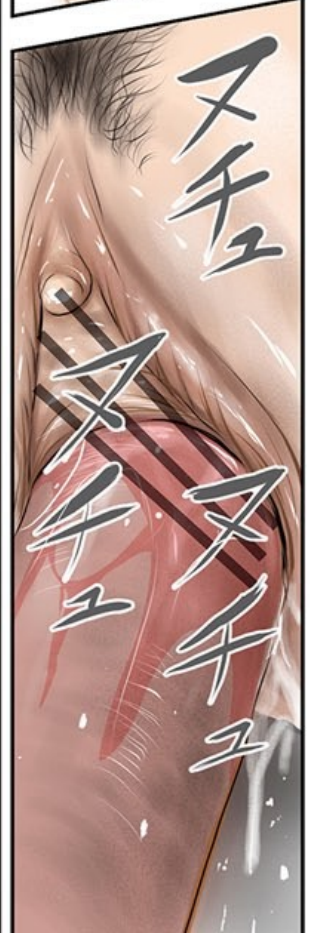
ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

おー
たまらない

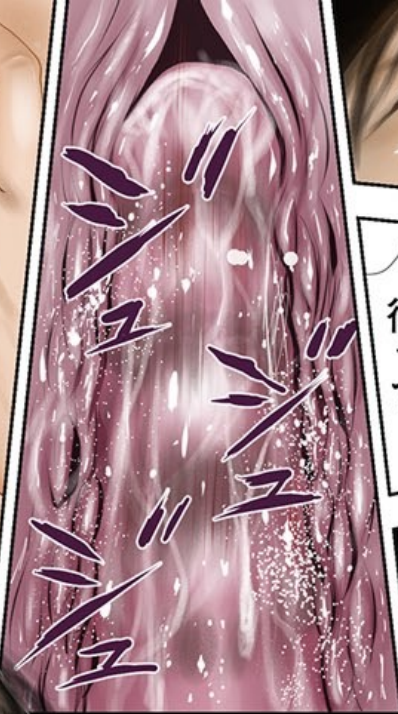




亜美ちゃん
俺もうだめだ
出そう！

待って
もう少し
待って

クウ~~~~



佑樹
来てえ~~~~

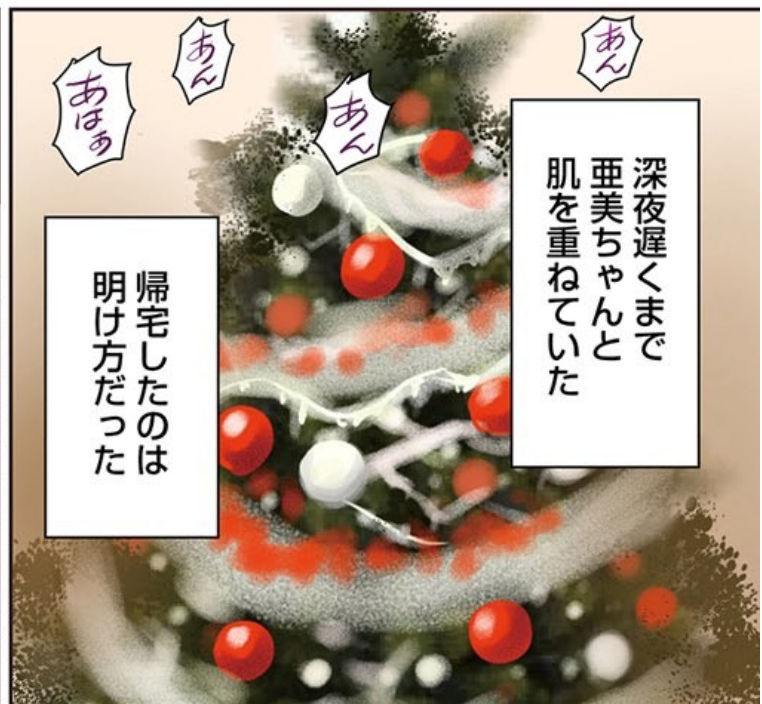
うはあ~~~~





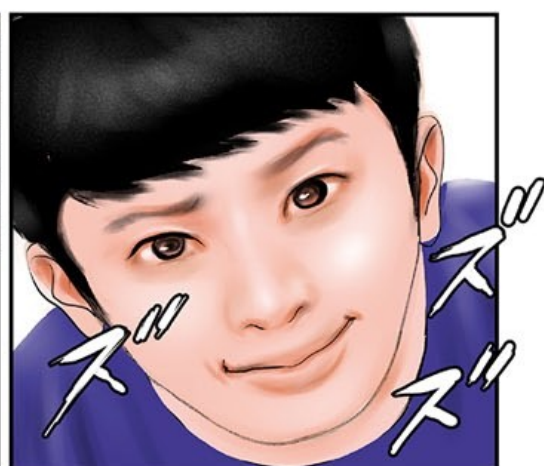
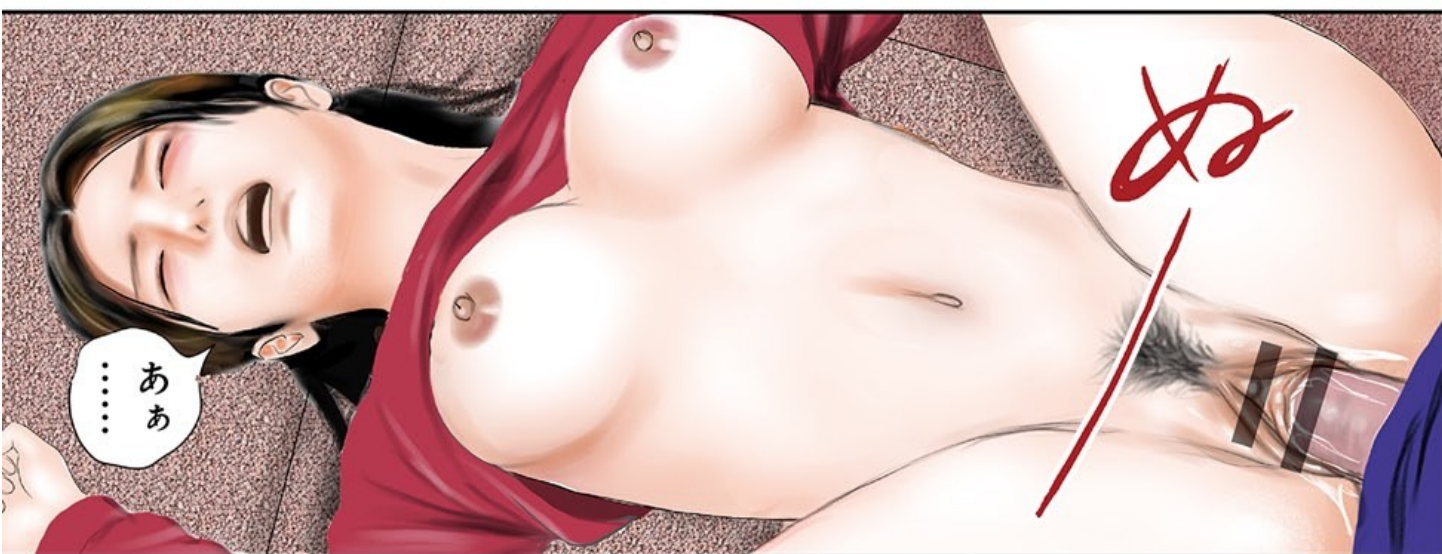
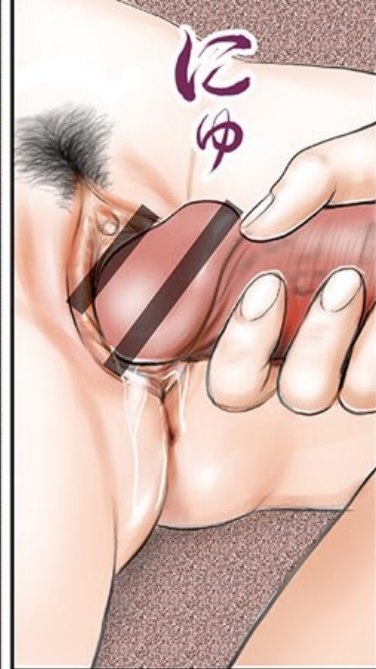
来年がいい年で
ありますように

年末に
ラッキーなことがあり
俺は気を良くした



帰宅したのは
明け方だった

深夜遅くまで
亜美ちゃんと
肌を重ねていた



**義母と姉弟
親密な関係**

鈴木ひろみち

わたしは
半年ほど前に
結婚しました

加奈子^{かなこ}32才です
主人はわたしより二回りほど
離れていて年の差婚です

主人は大学病院の教授で
わたしは秘書をしていたんです

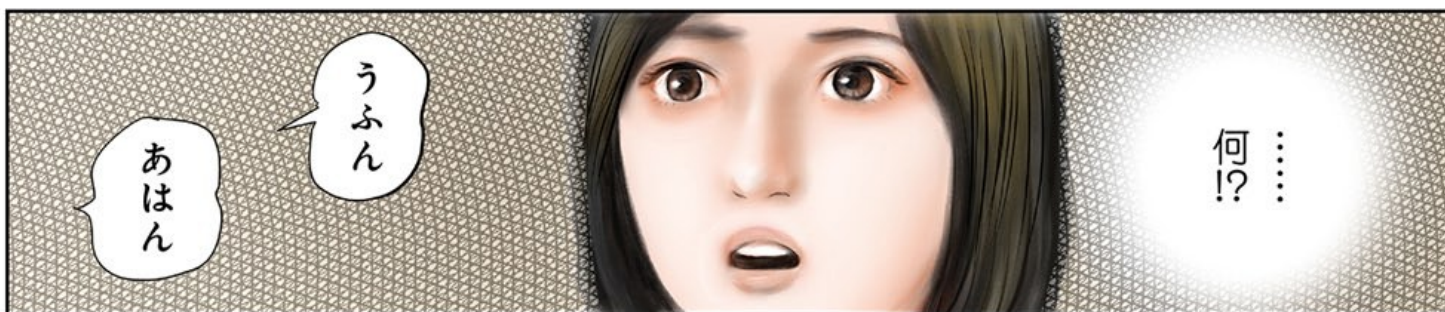
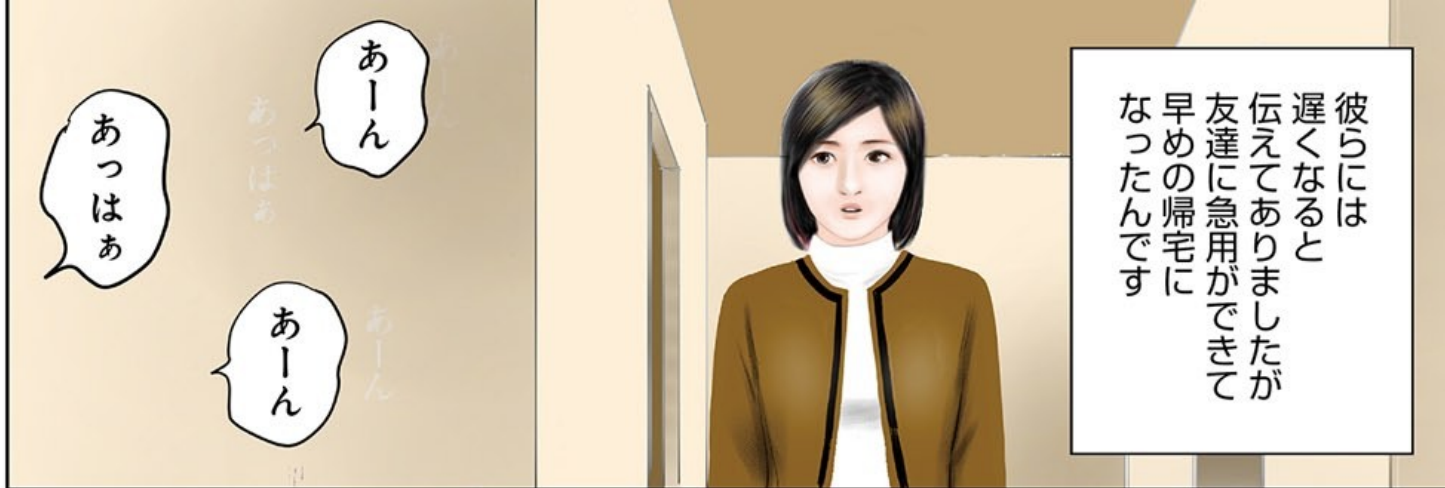
ただいま

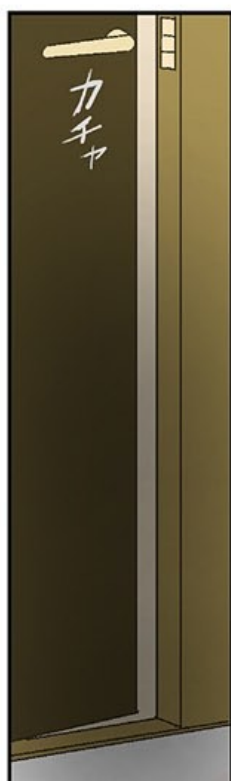
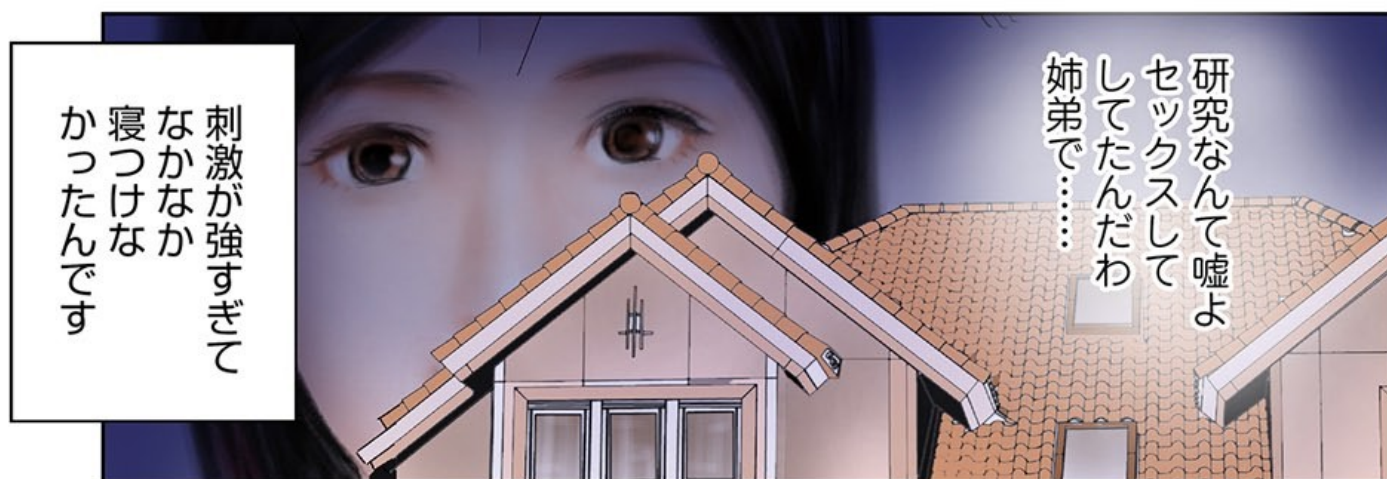
主人は再婚です
数年前に奥様を
病気で亡くされ
二人の子供がいます

一つ違いの姉弟で
共に医学部の学生です

その日は主人は
他県で学会があり
家を留守に
していました

わたしは
久しぶりに
羽を伸ばし
友達と食事をし
外出してんです







こんな事
親父に知れたら
ただじゃ済まないよ



カチ



あたしたちの関係
お父さんの
耳に入ったら
どうするの

どっちか
家を追い出される
かもしれないね



どんな事があっても
口止めておかないと

うーん
いいおっぱいしてる
こいつで親父を
ゲットしたんだな

たいしたこと
ないわ





なん
なのよ!?

……見た事
黙ってろってこと
わかったわ
誰にも言わないわ

安心
できないの



あたしたちと
親密な関係に
なってもらうわ

ダメ!



だからね
加奈子さんに
共有の秘密を
持ってもらおうと
思ったの



あたしと弟が
関係を
持ったのには
訳があるのよ



ああ…
いや

やめて



父と母は
あたしたちが
医者になるのを
望んだの

だけど
あたしたちは
医学部に合格
するほど
優秀じゃ
なかった

でも
病気の母を
喜ばせたくて
猛勉強したの
恋愛を遠ざけてね

それで溜まった性欲を
解消しあってたのよ



ああ!

ぺちよ
ぺちよ
ぺちよ

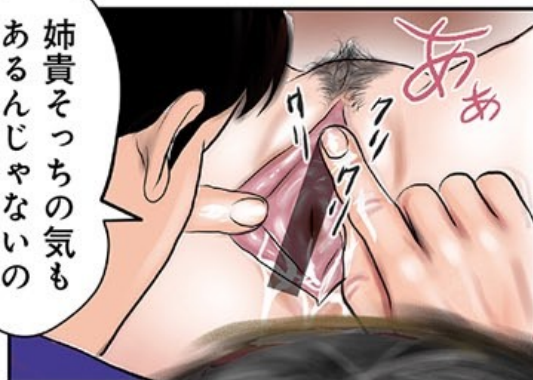
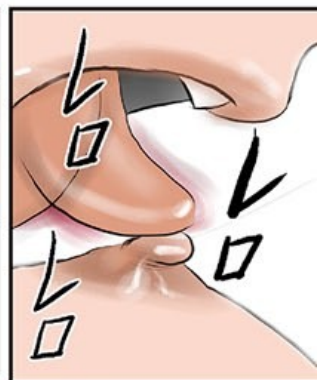


もう医学部に
合格したんだから
終わりにしたら



医師免許を
取るまでだよ

それまで
協力してよ
ね…ママ



姉貴そっちの気も
あるんじゃないの



快樂に引きずり
こまれて
いったんです



あたしたちと
関係を持つのは
加奈子さんの
ためにも
るんじや
ないかしら

お父さん
もう歳でしょ

満足して
もらってる
……?

ああ
……

この身体
持て余して
るんじやない
……?……ママ

マン汁が溢れて
止まらないよ
ママ

あ……
あは……

その通りでした
……

主人は恋愛中
激しくわたしを
求めてきました
……

うほあ

あん

あん

あん

あほ

加奈子
どうだ
わたしの
ペニス

ズ

ズ

ズ

ズ

あん

あん

うほ
うほ

あーすごい
お腹まで
響いてくるう！





.....そうね
二人が医者になる
手助けするのは
母親である
わたしの役目.....



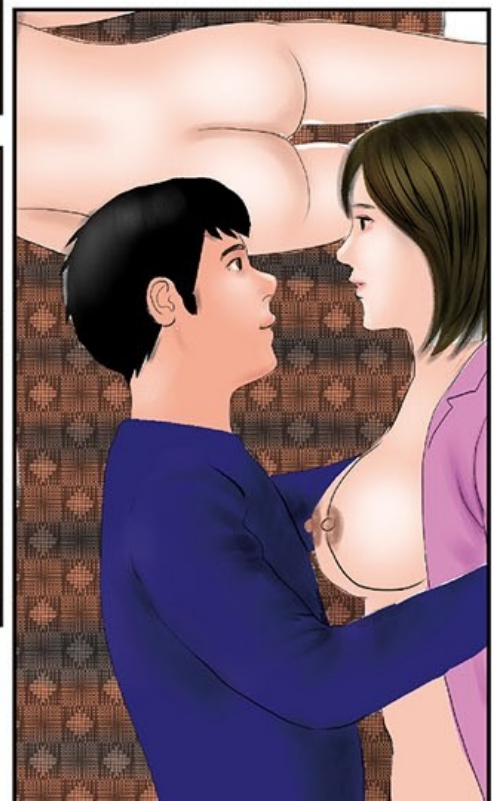
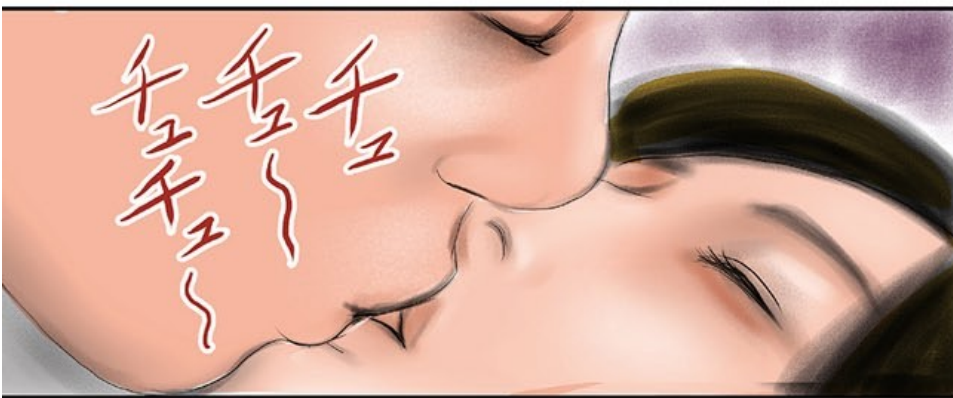
ママ
あたしも
して!

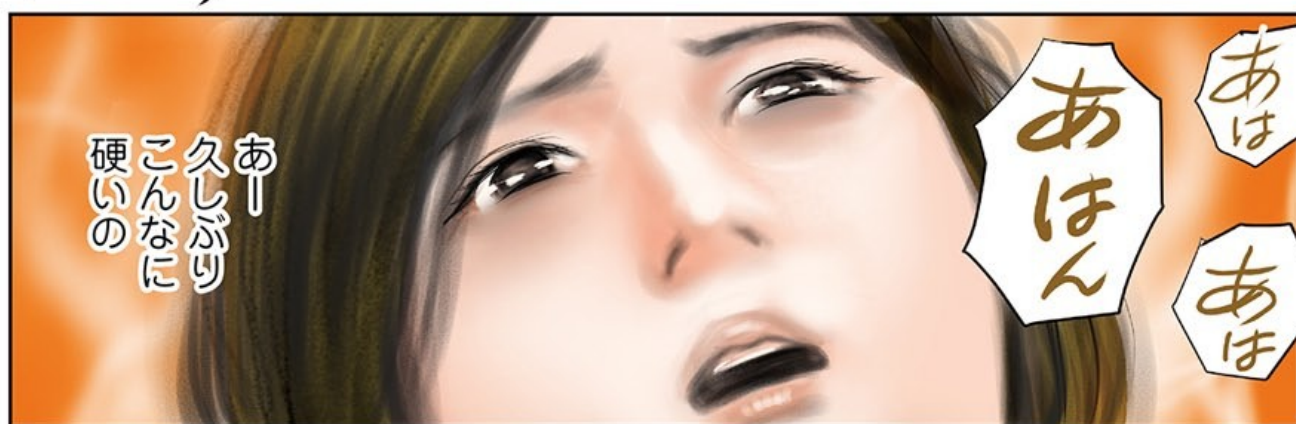


あ~~~~何これ
気持ちいい~~~~

ママの
舌技
最高だろ

そう思うと
二人のことが
愛おしく
思えてきたんです







突いて突いて
オマンコ
めちやめちやに
してえ~~~~

あん

あん

あほ

うおお

ニ
ユ
フ

ニ
ユ
フ

ニ
ユ
フ

あん
あん

イイ

ああ

あー
いいのいいの
オチンポ
大好きイ~~~~

ぐ
ちゅ

ぐ
ちゅ

ぐ
ちゅ

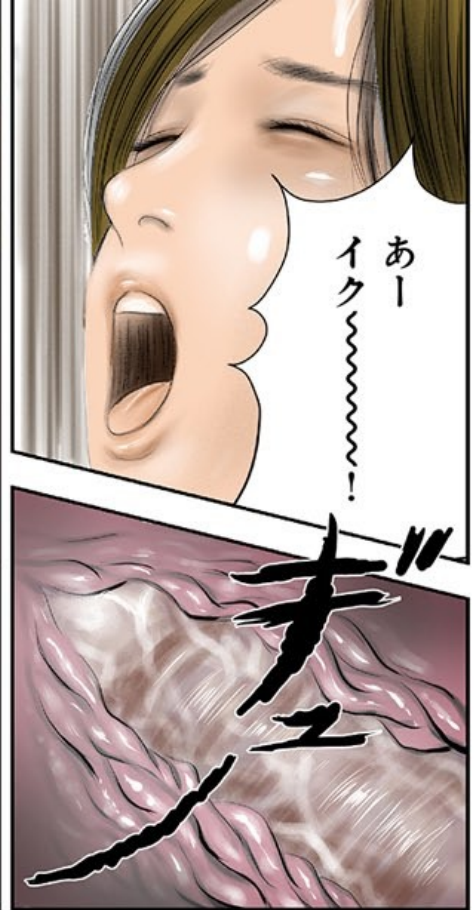
ああ
ム

ああ

うう



うううう！
ママあ~~~~



あー
イク~~~~~！



これでママは
俺たちの仲間だね

これから先
あたしたちに
つきあえとは
言わないけど
見て見ぬふりしてよ



だって……
あたしたち
メロメロに
されちゃうわよ

なんでだよ
ママともつと
したいよ

